

第七十四回
帝國議會
貴族院

輕金屬製造事業法案特別委員會議事速記録第二號

付託議案(追加)

工業組合法中改正法律案

昭和十四年三月二十日(月曜日)午前十時

十一分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ是ヨ

リ會議ヲ開キマス、本委員會ニ又工業組合法中改正法律案ガ併託ニナリマシタガ如何致シマセウカ、其ノ説明ヲ聽イテシマヒマセウカ、ドチラニ致シマスカ、是ハ只今迄

掛ッテ居リマス兩法案トハ直接關係ハナイヤウデアリマスガ、唯工務局ニ於テ主管セラレテ居ルト云フ關係デ併託ニナツカト思フノデアリマスガ……ソレデハ大體兩案トハ關係ガナイヤウデスカラ、兩案ノ質疑ガ一應終了致シタ所デ其ノ方ノ御説明ヲ伺ッ

タ方ガ、皆オ揃ヒニナツタ時ノ方ガ宜イト思ヒマスガ、如何デスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ左様

計ラヒマス、ソレデハ昨日ニ引續キマシテ質疑ヲ願ヒマス、昨日ハ帝國鑛業開發株式會社法案ニ付キマシテ御質疑ヲ伺ッテ居リマシタ、尙長岡サンニ申上ゲマスガ、商工大臣ハ今日衆議院ノ議事ノ關係デ午後三時

頃迄ハ御出席ガ御出來ナラナイ趣デゴザイマス

○長岡隆一郎君 今日ハ此ノ輕金屬ノ方ノ

質問モ致シテ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 宜シウゴザイ

マスガ、皆様御便宜デ矢張り同一問題ニ集中シタ方ガ御便宜デヤナイカト思ヒマスガ、御都合ニ依ッテハ宜シウゴザイマス

○加藤敬三郎君 帝國鑛業ノ方ニ付キマシテテヨット御聽キシタイト思ッテ居リマスガ、此ノ重要鑛物ニ屬スルモノデ現在輸入シテ

居ル高ト、ソレカラ國內デ產出シテ居ル高トハ、大體ドノ位デアリマスガ、テヨット伺ヒタイ

○政府委員(小金義照君) コレハテヨット

速記ハ止メテ欲シイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記中止ニ御

異議ゴザイマセスカ……ソレデハ速記ヲ止メテ宜シウゴザイマス

〔速記中止〕

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ始メ

テ……

○加藤敬三郎君 其ノ價格ハ公定サレテ居リマス

○政府委員(小金義照君) 所謂公定價格ト

云フモノノ意義デアリマスガ、法律ニ基礎ヲ置イテ標準價段ヲ定メル場合ト、當業者ノ團體ニ於テ建値ヲ決メマシテ、サウシテ

政府ノ承認ヲ得ル場合ト、マア大體此ノ二ツニ私共考ヘテ居リマス、此ノ非鐵金屬ニ付キマシテハ、大體法律ニ基カズニ、當業者ノ團體ニ於キマシテ建値ヲ相談シテ決メテ、

ソレガ政府ニ届出ラレマシテ、妥當デアル場合ニハ、政府ガ之ヲ承認スルト云フヤウナ形ヲ取ッテ居リマス、其ノ意味ニ於キマシテ銅ナリ、鉛、亞鉛、錫ト云フヤウナ物ノ

價段ガ、一種ノ公定ト云フ文字ハ當嵌リマセスト思ヒマスガ、濫リニ當業者ノ好キ勝手デ建値ヲ變ヘルコトガ出來ナイト云フ仕組ニ相成ッテ居ルノデアリマス

○加藤敬三郎君 サウ致シマス其ノ價格

ニ對シテハ、政府ハ御干涉ニナッテハ居ナイノデアリマス

○政府委員(小金義照君) 實質上商工省ノ

承認ヲ受ケルト云フコトニ取扱ッテ居リマスカラ、其ノ意味ニ於テ政府ガ干涉シテ居ルト申シテ差支ナイノデアリマス、ソレハ供給シ得ル數量ガ非常ニ減ッテ参リマシタノ

デ、其ノ儘ニ放置致シマス、インゴット

或ハ電氣銅、或ハ亞鉛ト云フヤウナ物ノ價段ガ非常ニ騰ルノミナラズ、是等ノ「スクラップ」モ亦非常ニ騰リマスノデ、其ノ點ハ

官廳ニ於キマシテ取締ヲ致シテ居ル實情デアリマス

○子爵大河内正敏君 此ノ公定價格ノ問題

ニ關聯シマシテ、加藤サンガ御濟ミニナリマシテカラテヨット御尋ネシタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 宜シウゴザイ

マス

○加藤敬三郎君 普通ノ經濟原則カラ行ク

ト云フト、物ガ高クナレバ、從ッテ其ノ生産ガ割ニ合フカラ餘計出來ルト云フコトニナル譯デスカ、是等ノ金屬ニ對シマシテ價段ガ高クナレバ其ノ產出額ガ殖エルト云フ見込ハアルノデスカ

○政府委員(小金義照君) ソレハ或程度迄

アルト存ジマス、唯建値ヲ今官民一致シテ決メテ、ソレニ準據セシメルト云フ制度ヲ執ッテ居リマスノデ、其ノ建値ヲ引上ゲレバ、其ノ引上ゲタダケニ應ズル鑛物ガ餘計出ルカト云フ問題ニ相成ルノデアリマス、處ガ建値八百圓ノ物ヲ千圓ニシ、千圓ノ物

ヲ千百圓ニシタカラ、ソレニ大體順應スル
ダケノ原料タル礦物ノ増産ガ出來ルカト云
フコトヲ色々考ヘマス、ナカ／＼其ノ通
リニハ參ラナイ狀態デゴザイマス、ソレハ
一ツハ技術者、努力、殊ニ資材ノ關係モア
ルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ點建値
ヲ上ゲテモ、上ゲタダケニ相應スルモノガ
出ルトハ見込ミ得ナイ狀態デゴザイマス

○加藤敬三郎君 スルト實際必要額ハ内地
デ出來ナケレバ、ソレハ輸入セヌケレバイ
ケナイ譯デスネ、サウナルト生産擴充計畫
ト、十四年度ナラ十四年度ニ對スル所ノ物
資動員ト、ソレハ一體ドウ云フ關係ニナッテ

居リマスカ、ソレ等ノ金屬ニ對シテ……生
産力擴充デハドウ云フ工合ニナッテ居リ、ソ
レカラ本年ノ之ニ對スル物動計畫ハドウ云
フ風ニナッテ居ルカ、ソレニ對シテ輸入ハド
ウ云フ振合デアルカト云フコトニ付テ伺ヒ
タイ

○政府委員(小金義昭君) 物資動員計畫ノ
方ニ於キマシテハ、大體ノ需要額ヲ想定致
シマシテ、ソレニ國內產出高ヲ豫想シテ、
其ノ不足ノ部分ヲ輸入ニ仰グト云フコトニ
致シテ居リマス、昭和十四年度ノ物資動員
計畫ハマダ私共承知致シテ居リマセヌ、目
下研究中デアルト承知致シテ居リマスガ、

生産力擴充ノ方カラ申シマス、大體色々
ナ條件ヲ考慮致シマシテ、鑛山局關係ノ方
ニ於テ、此ノ程度ノモノハ國內デ生産シ得
ル見込ガアルト云フコトヲ申出ルノデアリ
マス、其ノ際ニ矢張り必要ナ努力ト、特ニ
資材ノ供給ガ確保サレナイト實現出來ナイ
ノデアリマスガ、ソコ等ガ段々循環シテ參
リマシテ、非常ニ困難ナ點ガアルト思ヒマ
スガ建方ト致シマシテハ、國內生産ノ豫想
「プラス」輸入額ガ總需要高ニナルノデアリ
マス

○加藤敬三郎君 サウスルト、本會社ヲ拵
ヘルト云フト、先刻ノ御話ニ依ルト、價格
ガ高クナッテモ其ノ生産ガドウ云フ工合ニ
ナルカト云フコトハチョット分リ難イト
云フ御話デアリマシタガ、本鑛業開發會社
ガ出來マストドウ云フ御見込ニナリマスカ
○政府委員(小金義昭君) 只今申上ゲマ
シタノハ今日迄ノ實情ヲ申上ゲタノデアリ
マシテ、サウ云フ狀況デアリマスカラバ、
假令國內ノ價格ヨリモ比較的安イ國際相場
ニ於テ、是等ノ非鐵金屬ヲ海外カラ輸入致
シマシタト假定シテ、サウシテ國內ノ相場
ハ國際相場ニ順應スルヤウナ往年ノ立場ヲ
執ラナイトシテモ、ソレダケノ差額ガ比較
的品位ノ惡イ鑛石ノ產出ニ向ケラル、トハ

豫想出來ナイノデアリマス、ソレハ輸入ス
ル者ノ利潤モ相當考ヘナケレバナラスシ、
又製鑛業者ノ利潤ト云フヤウナモノモ考ヘ
ナケレバナラスノデ、大キナ製鑛業者ニ於
テハ、安イ鑛石ヲ製鑛シテ、比較的利潤ガ
多イ場合ニハ、割合ニ品位ノ惡イ自分ノ山
ノ鑛石モ掘出ス等ニ意ヲ用ヒテ居ルヤウデ
アリマスガ、今ノ處、サウ云フコトハ考ヘ
ラレナイ實情デアリマス、ソコデ此ノ帝國
鑛業開發株式會社ハ是等ノ點ニ鑑ミマシテ、
自ラ鑛物ノ品位ヲ餘リ顧慮スルコトナク鑛
石ヲ掘出ス、サウシテ遙ニ餘裕ヲ持ッテ居リ
マス製鑛能力ヲ働カセルト云フ意味ニ於テ、
製鑛業者ニ其ノ鑛石ヲ供給スル、斯ウ云フ
方法ヲ此ノ會社ガ執ルノデアリマス、其ノ
際ニ鑛石ノ輸入ガ今迄ノ處、非常ニテン
デンバラ／＼ニナッテ居リマスカラ、之ヲ出
來レバ統制致シマシテ、成ルベク安イ値段
デ買ヒマシテ、サウシテ輸入業者ニモ其ノ
利益ノ一部ヲ均霑セシメ、而シテ製鑛業者
ニ對シテモ製鑛ニ要スル實費「プラス」ノ適
當ナ利潤ト云フモノヲ支拂ッテ尙餘リガ今
日ノ所デハ出テ居リマスカラ、其ノ餘リノ
幾分カラ増産ノ方面ニ向ケル、即チ銅デ申
シマスレバ、千百圓ノ建値デハ掘レナイ、
鑛石ヲ更ニ掘ラセルト云フコトヲ此ノ會社

ニ依ッテ實行サセタイト考ヘテ居リマス、
モウ一ツハ此ノ會社ハ或程度迄利潤ヲ無視
シテ鑛石ヲ掘出ス事業ヲ實行シ得ル建前ニ
ナッテ居リマス、ソレハ法律ニ依ッテ此ノ際政
府ガ其ノ損失ヲ補償シテヤルト云フコトニ
ナッテ居リマスカラ、其ノ兩方面カラ國內ノ
鑛石ノ増産ハ相當期待シ得ル、ソコデ大體
生産力擴充計畫ノ目標數字ニ追付ク爲ニ
ハ、是非斯ウ云フ帝國鑛業開發株式會社ト
云フヤウナ機構ヲ國家トシテモ、民間トシ
テモ持タナクチャイカスノデヤナイカ、斯
ウ云フ立場カラ出發シテ考ヘテ居ルノデア
リマス、然ラバ此ノ會社ニ依ッテ國內ノ鑛
物ノ増産高ガ何「パーセント」ニナルカト云
フ問題ガ起ルノデアリマス、是ハナカ／＼
ムヅカシイ問題デアリマシテ、キッチリドレ
ダケ此ノ會社ノ設立ニ依ッテ殖エルカト云
フコトハ、ナカ／＼計算シニクイノデアリ
マスガ、一應考ヘテ居リマスル所デハ、目標
數字ニ向ッテ近付ク爲ニ相當ノ貢獻ヲスル、此
ノ會社ノヤウナモノヲ作ラナイ場合ニ於テ
ハ、到底アノ企畫院總裁ガ御示ニナリマシ
タヤウナ數字ハ私共トシテハ考ヘラレナ
イノデ、斯ウ云フヤウナ帝國鑛業開發株
式會社ト云フヤウナモノヲ作ッテ、之ニ必死ノ
努力ヲサセマシタ場合ニ於テハ、アレ

ニ依ッテ實行サセタイト考ヘテ居リマス、
モウ一ツハ此ノ會社ハ或程度迄利潤ヲ無視
シテ鑛石ヲ掘出ス事業ヲ實行シ得ル建前ニ
ナッテ居リマス、ソレハ法律ニ依ッテ此ノ際政
府ガ其ノ損失ヲ補償シテヤルト云フコトニ
ナッテ居リマスカラ、其ノ兩方面カラ國內ノ
鑛石ノ増産ハ相當期待シ得ル、ソコデ大體
生産力擴充計畫ノ目標數字ニ追付ク爲ニ
ハ、是非斯ウ云フ帝國鑛業開發株式會社ト
云フヤウナ機構ヲ國家トシテモ、民間トシ
テモ持タナクチャイカスノデヤナイカ、斯
ウ云フ立場カラ出發シテ考ヘテ居ルノデア
リマス、然ラバ此ノ會社ニ依ッテ國內ノ鑛
物ノ増産高ガ何「パーセント」ニナルカト云
フ問題ガ起ルノデアリマス、是ハナカ／＼
ムヅカシイ問題デアリマシテ、キッチリドレ
ダケ此ノ會社ノ設立ニ依ッテ殖エルカト云
フコトハ、ナカ／＼計算シニクイノデアリ
マスガ、一應考ヘテ居リマスル所デハ、目標
數字ニ向ッテ近付ク爲ニ相當ノ貢獻ヲスル、此
ノ會社ノヤウナモノヲ作ラナイ場合ニ於テ
ハ、到底アノ企畫院總裁ガ御示ニナリマシ
タヤウナ數字ハ私共トシテハ考ヘラレナ
イノデ、斯ウ云フヤウナ帝國鑛業開發株
式會社ト云フヤウナモノヲ作ッテ、之ニ必死ノ
努力ヲサセマシタ場合ニ於テハ、アレ

ニ近付クノニ餘程樂ニナルト云フ程度デア
リマシテ、此ノ帝國鑛業開發株式會社ダケ
ノ施設ダハ勿論私ハ足ラナイト考ヘテ居リ
マス

○加藤敬三郎君 假ニ此ノ會社ガ出來ルト
致シマス、從來ノ稼行者ニ對スル所ノ影
響ト云フモノハドウ云フ風ニナリマスカ

○政府委員(小金義照君) 從來ノ稼行者ト
申シマスノハ、恐ラク製鍊業者、或ハ鑛山
業者ト兩方ダラウト思ヒマスガ、鑛山業者

ノ方ハ此ノ帝國鑛業開發株式會社ト聯繫ヲ
保ツテヤル場合ニ於キマシテハ、實地調査ヲ
シテ貰フコトモ出來マスルシ、又資金ノ融

通、或ハ投資ヲ此ノ會社ニ依頼スルコトモ
出來ルト云フヤウナコト大變ナ便宜ガア
ルト思ヒマス、尙鑛物ノ委託販賣ト云フヤ

ウナモノヲ此ノ會社ニヤラセルコトモ出來
マスシ、ソレカラ此ノ會社ハ選鑛所ヲ適當
ナ地域ニ建テル豫定デアリマスカラ、此ノ

選鑛所ヲ利用スルコトモ出來ルト云フヤウ
ナ點ニ於テ、鑛山業者ハ相當ナ便宜ヲ受ケ
テ、サウシテ殊ニ今迄色々調査ノ出來ナカッ

タ、或ハ調査ト申シマスノハ「ボーリング」
トカ何トカ云フ意味モ入ッテ居ルノデアリ
マスガ、サウ云フコトモ出來ナカッタカ、
或ハ資金ガ時期的ニ或期間ニ於テ足ラナカッ

タト云フヤウナコトモ救ハレルト思ヒマス、
ソレカラモウ一ツノ方ノ製鍊業者ハ從來統
制ニ依ル利益ヲ、即チ統制ニ依ッテ生ズル輸

入鑛石ト國內建値トノ差額ヲ全部壟斷シテ
居ッタト云フヤウナ非難カラ先ヅ避ケ得ル
ト思ヒマス、同時ニ從來其ノ手デ自ラ買ッテ

居リマシタ銅鑛石ノ國際相場ニ依ッテ大體
左右サレテ居ル實績ガアリマシタガ、上リ
下リニ依ッテ算盤ノ採リ方ヲ常ニ心配スル

ト云フヤウナ實情ガアリマシタガ、此ノ會
社ガ出來マシテ此ノ會社ニ輸入鑛石ノ取扱
ヲ委囑スルト云フコトニナッテ參リマス、

自分ハ製鍊ニ要シタ實費「プラス」ノ利潤或ハ
相當ナ利益ヲ加味シタモノヲ貰ッテ外國鑛
石ヲ製鍊スル、其ノ間一ツモ採算上ノ不安

ガナイト云フコトガ先ヅ利益ノ第一點ダラ
ウト思ヒマス、其ノ次ニ第二點ト致シマシテハ此
ノ帝國鑛業開發株式會社ハ自ラ製鍊ヲ致サナ

イ計畫デアリマス、ソコデ色々施設即チ國ガ
損失補償ヲ爲ス制度トカ、或ハ其ノ他此ノ會社
ガ純然タル營利會社デナイノデ、其ノ立場

カラスル所ノ事業ニ依ッテ鑛物ガ兎ニ角今
迄手ノ著ケテナカッタ方面カラ產出出來ル、
サウシマス、其ノ鑛石ハ今申上ゲマシタ通
リ會社ガ自ラ製鍊致シマセヌノデ當然製鍊
業者ニ行ク譯デアリマス、サウ云フ關係デ

製鍊業者ハ鑛石ニ付テ今迄ノヤウニ餘リ不
自由ヲシナイ、少クトモ目前ニ鑛石不足ヲ
心配スル必要ガナクナルト云フコトガ利益

ノ第二點、第三點ト致シマシテハ今日ノ狀
態ニ於キマシテハ、銅ヲ一例トシテ申上ゲ
マス、製鍊業ハ勿論統制サレテ居ルトハ

申シナガラ、完全ナ自由主義ノ下ニ立ッテ居
リマス、ソコデ甲ノ製鍊所ニ何程銅鑛石ガ
堆積シテ居ッテモ、之ヲ乙ノ製鍊所ニ廻シテ

ヤルト云フヤウナコトハナカ／＼出來ナイ
コトデアリマス、處ガ此ノ會社ガ出來マス
ト、或程度迄中ニ立ッテサウ云フ點ヲ緩和

スル、モウ一ツハ最モ銅ヲ例ニ採ッテ申上ゲ
マス、銅鑛石ハ酸性ノ銅鑛石バカリヲ
持ッテ居ッテモ製鍊出來ナイ、或ハ鹽基性ノ

銅鑛石ガ足ラナイノデ、鑛石ノ山ヲ積ミナ
ガラ製鍊能力ヲ發揮スルコトガ出來ナイト
云フヤウナ狀況ニアリマス、サウ云フヤウ

ナ際ニ鹽基性ノ鑛石ガ餘ッテ居ル部分カラ
此ノ會社ガ買取ッテ鹽基性ノ鑛石ノ足ラナ
イ製鍊所ニ賣渡シテヤル、サウ云フヤウナ

際ニ營利本位デ此ノ會社ガヤラナイト云フ
所ニ相當現在アル製鍊業者ハ利益ヲ受クル
コトト思ヒマス、然ラバ現在ノ製鍊業者ハ
少シモ不利益ヲ受ケル所ハナイカ、此ノ會
社ノ設立ニ依ッテ脅威ヲ感ズルヤウナコト

ハナイカト申シマス、私ハ今ノ所ナイト
申上ゲテ宜シイノデアリマス、ソレハ先ヅ
第一ニ熟練シテ居ル所ノ技術者、勞務者ヲ

引拔カレハシナイカト云フヤウナ心配デア
リマスガ、是ハヤラナイコトニ方針ヲ定メ
テ居リマス、ソレカラ此ノ會社ガ鑛石ノ買

入ヲヤル場合ニ於テ、現在製鍊所ヲ持ッテ居
ル製鍊業者ガ此ノ會社ニ鑛石ヲ買取ラレテ
シマフト、自分カラ買鑛ヲスルコトガ出來

ナクナリハシナイカト云フ點ガアリマス、
此ノ二點ガ大體心配サレル主ナ點ト思ヒマ
スガ、之ニ付キマシテモ此ノ會社ハ今製鍊

業者ガ正當ニ買ッテ居ル買鑛制度ヲ破壞シ
テ、自分ノ手デ何モ彼モ鑛石ヲ買集メテシ
マフト云フ方針ハ執リマセヌデ、寧ロ委託

サレル場合ニ鑛石ノ賣買ヲヤルコトヲ本體
ト致サウ、斯ウ云フ計畫デ基礎ヲ作ッテ居リ
マス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 加藤サンノ質
疑ハ澤山ゴザイマス……ソレデハ價格ノ
問題ニ付キマシテ關聯シテ大河内サンカラ

質問ガ御アリニナルヤウデゴザイマス
○子爵大河内正敏君 公定價格ノ問題ニ付
キマシテ伺ッテ見タイト思ヒマス、丁度加藤委
員ガ御尋ニナリマシタコトト同ジヤウナコ
トニナリマスガ、モウ少シ詳シク伺ヒタイ

ト云フノガ私ノ趣旨デアリマス、公定價格ト云フモノガ今日出來テ居リマスガ、此ノ公定價格ト云フモノノ前提が大體當業者ニ案ヲ定メサシテ居ルノデアリマス、是ハ無論差支ナイコトデアリマスガ、此ノ場合ニ弊害ノ起ルノハ、當業者が大體大資本ヲ擁ル人ノミガ代表者ノヤウナ形ニナッテ此ノ議ニ與カルノデアリマス、ソコデ此ノ人達ハ、率直ニ申シマス云フト、一方カラ云フト公定價格ヲ成ルタケ高クシテ、サウシテ相當ノ利潤ガ得タイト云フノハ是ハ當リ前ノ話デアリマス、併シナガラ公定價格ヲ高クスルト云フコトガ假ニ商工省カラ認メラレマシテモ、高クスルトソレガ必ズシモ有利デナイト云フ問題ニナル、ソレハドウデアルカト云フト、從來ノ商工業者、或ハ新シク又工業ヲ營ム者ガ出テ來ル、銅ノ値段ガ高クナレバ今迄ハ引合ハナイカラ止メテ居ッタ者ガ新シク仕事ヲ始めル、一方カラ言ヘバ競争者ガ出テ來ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、色々ナコトヲ考ヘテ公定價格ガ決ルノデアリマス、私ハ此ノ公定價格ガ決ツタ爲ニ軍需品若シクハソレニ關聯シテ居ル工業ガ、却テ資材ヲ得ラレナイト云フ結果ニナッテ來ルト思ヒマス、何故カト云ヒマス云フト、公定價格ガ決ッ

テ居ル爲ニ、而シテソレガ安過ぎテ居ル爲ニ、闇相場ト云フモノガ現レテ來ル、現ニ只今銅ノ御話ガゴザイマシタガ、千圓デシタカ、千二百圓デシタカ、其ノ位ノ値段デアリマスガ、ソレノ數倍ノ價格デ以テ取引サレテ居ル、甚ダシイ例ハ、「トン」八千圓以上ノ取引ノアツタコトヲ私承認シテ居リマス、而シテ其ノ値段デ買ヒマシテモ、買ッタ方ハ引合フカラ買フノデアリマス、決シテソレデ損ハ行クノデヤナイ、引合フノデハ、一方ニ於テハ注文ガ殺到シテ來テ居ルト云フヤウナ關係カラシテ、商工業者ハサウ云フ高イ値段デ以テ材料ヲ買ッテ生産ヲシテモ尙且ソレデ算盤ガ合フ、併シ是ハ反動期ガ來マシタ時ニハ直チニサウ云フモノハ減ビル、併シ減ビルノハ覺悟ダ、今日はダケノ需要ガ國家ニアリ、而シテ其ノ一部ハ軍需品ニ應用サレルノデアルカラ、倒レテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ覺悟ヲ持ツテ、非常ニ立派ナ覺悟ヲ持ッテヤッテ居ル者ハ一番高イ材料ヲ使フシ、反動期ガ來たらバ一遍ニ潰サレル連中ナンデアリマス、ソレトモウ一ツハ公定價格ノ低過ぎルト云フ爲ニ、所謂貧乏處理ト云フコトガ行ハレテ來ナイノデアリマス、銅ノ生産ガ思フヤウニ増シテ來ナイト云フコトガ私アルト思

ヒマス、是ハ金ニ於テ同様デアリマシテ、金ノ買上價格ガ今日低過ぎル、高クスレバモット金ガ出ルデヤナイカ、其ノ通デアリマス、此ノ方ハ外國爲替ノ關係ガアリマスカラ、無暗ニ金ノ買上値段ヲ引上ゲルト云フコトハ、是ハムヅカシイデゴザイマセウ、併シナガラ銅ノ方ハ其ノ他ノ金屬ニナリマス云フト、買上値段ト云ヒマスカ、公定價格ト云フヤウナモノヲ引上ゲテモ、決シテ爲替相場ニ影響シナイ、寧ろ其ノ方ガ爲替相場ニ好イ影響ヲ與フル、何トナレバ公定値段ガ低イ爲ニ生産ガ少イ、ソレヲ補充スル爲ニハ輸入シナケレバナラスト云フ問題ニナル、ダカラ此ノ方ハ公定値段ヲ引上ゲルコトガ却テ生産ヲ増シ、外國爲替關係ヲ好クスルト云フ結果ニナルト私ハ思フ、ソレハ今申上ゲタヤウナ形ニ於テ、當業者ノ主ナ者ガ二三ト言ッテヤ語弊ガアルカモ知レマセスガ、一番自分達ニ都合ノ好イ價格ヲ公定スル、ソレハ國家ト云フ大局カラ見テノ公定價格デナイト私ハ思フ、併シ軍需品ニ對シテハ、軍需品ノ値段ガ上リ得ル可能性ガ無論アリマスカラ、是ハ特殊ノ方法デ以テ協定シテ私ハ宜イト思フ、軍部デ軍需品ニ使フ場合ノ値段ト間接ニ軍需品其ノ他ニ使フ値段ト云フモノハ、變ッテ差支ナイト思フ、間接ノ軍需

品ト云フヤウナモノハ、例ヘバ電導機等ヲ製造スル場合ニハ、ソレガ軍需品製造ニ使ハレルノデアリマスカラ、私ハ間接ノ軍需品製造ト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、此ノ點ニ關シテ一ツ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、○政府委員(小金義昭君) 鑛物ノ公定價格ト申シマスカ、其ノ建値ノ問題ノ決メ方ニ付キマシテハ色々ナ困難ヲ感ジテ居リマス、只今大河内子爵カラ銅ノ公定價格ガ安過ぎル場合ニ付テノ色々ナ發生シツ、アル所ノ闇相場トカ、或ハ其ノ他ノ弊害ヲ御指摘ニナリマシタガ、誠ニ御尤ナコトト存ジマス、此ノ銅ノ建値ノ問題ハ、從來ハ確カニ色々ナ不純ト申シマスと言葉ガ宜クアリマセスガ、マア妙ナ經緯ガアツテ付ケラレテ居ッタヤウデアリマス、併シナガラ最近此ノ銅ノ配給ノ方ヲ司ツテ居リマス、臨時物資調整局ノ第二部ノ報告、或ハ色々ナ打合せヲ受ケテ居リマス所ニ依リマス、大變趣キヲ異ニシテ來タヤウニ承知致シテ居リマス、併シナガラ建値ヲ今ノ儘デ置イタナラバ、現在ノ業者ノ競争者ノ立場ニ立ツ者ハ現レテ來ナイ、或ハ貧乏處理ガ思フヤウニ行カナイノデ銅ノ増産ハ思ハシクナイノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマスガ、貧乏處理ハ是非ハ何トカヤラセナケレバナ

ラスト思ッテ居リマス、貧鑛處理ハ此ノ會社ガ
目標トシテ居リマスル、銅鑛石ノ増産ノ一
番大切ナ部分デゴザイマス、現在ノ所デハ
鑛石ノ選鑛設備ハ「フル」ニ動カシテ居リマ
ス、又目下指導シテ増設セシメツ、アルノ

デアリマス、貧鑛處理ハ此ノ會社ガ損ヲシ
デモヤルト云フ建前ト、此ノ基礎ニ建設セ
ラレマスル選鑛設備ノ増設ト、兩者ニ依ッテ
行ッテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、建値
ヲ引上ゲルコトモ勿論其ノ一助トナルト考
ヘラレマスガ、是ハ低物價政策ト云フヤウ
ナ問題、即チ物價ノ方ノ問題トモ牽連致シ
マスノデ、其ノ方トモ能ク協議致シマシテ
研究致シタイと思ヒマス、尙「コークス」ト
カ、其ノ他ノ製鍊用ノ原料材料、ソレカラ
鑛物ノ採掘用ノ原料材料、其ノ他ノ經費ガ
非常ニ上ッテ居ル點モアリマス、併シナガラ
低物價政策ト云フ點カラ一應今ノ儘デ押ヘ
ラレテ居リマスガ、尙研究ヲ致シタイと思
ヒマス、唯建値ヲ引上ゲタカラ、直グドレ
ダケノ效果ガアルカト云フコトハナカ／＼
計算致シ難イノデアリマス、今仰セニナリ
マシタ軍需品ノ如キハ別ニ取計ツタラドウ
カト云フヤウナ意味デ建値ヲ考ヘロ、此ノ
御説デアリマスガ、是ハ恐ラク銅ノ建値ニ
付テハ、二本建テヲ考ヘロト云フコトノ御

趣旨ダト思ヒマスガ、ソレ等ノ點モ篤ト今
後物價ノ政策ニモ基礎ヲ置キマシテ、豫テ
増産政策ヲ出來ルダケ容易ニスルト云フ意
味ニ於テ研究致シタイト存ジマス

○子爵大河内正敏君 分リマシタ

○加藤敬三郎君 スルト此ノ産金振興會社
ガ昨年ノ議會デ通過シテ何シテ居リマス
ガ、之ト別ニ今度ノ會社ヲ御拵ヘニナツタ
ト云フ趣旨ガ何處ニアルノデスカ、大體産
金振興會社ト、是トハ同ジヤウナ組立ニナツ
テ居ルヤウニ思フノデス、ソレカラ今御話
ニナツテ居ル銅ノ如キモノハ殆ド同ジ鑛物
カラ何シテ居ルノデ區分モ出來ニクイモノ
ガアルダラウト思ヒマス、之ヲ特別ニ御拵
ヘニナツタ理由ト云フノハソレハドウ云フ
コトデスカ

○政府委員(小金義照君) 御尤ナ御質問デ
アリマシテ、日本産金振興株式會社法ト、
此ノ帝國鑛業開發株式會社法案トノ大體法
律ノ仕組ハ全ク同ジト申シテ差支ナイノデ
アリマス、唯事業ノ關係ガ、即チ此ノ法律
案デ申シマス、第十一條デアリマス、此
ノ第十一條ト産金振興株式會社法ノ第十二
條ノ差、此ノ點ガ主ナル所ト存ジマスガ、
之ヲ別ノ施設トシテ國家ガ考ヘタ方ガ宜シ
イト云フ結論ニ到達致シマシタ要點ヲ申上

デマス、其ノ第一ハ先ヅ金ニ付テハ與ヘ
ラレタル目標數字ニ向ッテ邁進スル必要ガ
アリマシテ、日本産金振興會社ガ如何ニ努
力ヲ致シマシテモ、ナカ／＼専心金ノ増産
ニアノ資本及ビアノ資力、集メ得ル資金力
ト、其ノ他ノ力ヲ打込ンデモ四年間或ハ五

年間ニ目標ノ數字ニ向ッテ進ムコトハ容易
ナラヌ問題デアリマス、ソレニ又其ノ産額
カラ見マシテモ非常ニ多額ノ金額ニ上ル、
銅、鉛、亜鉛、錫ト云フヤウナ所謂非鐵金
屬ノ一群ノ増産ヲ背負ヒ込ムト云フコトニ
致シマス、目標ガ分散スル處ガアリマス
ノデ、先ヅ是ハ普通ノ狀態ニ於テ分ケル、
分ケテ今日ノ狀態ニ於テハ、ソレ／＼ノ分
野ヲ定メテ一路邁進スルト云フコトガ必要
デアルト考ヘタノモ一ツデアリマス、其ノ
次ニ金ト銅、鉛、亜鉛、所謂一連ノ非鐵金
屬トノ關係ハ日本ノ國內ニ於テハ模様ガ
違ッテ居リマス、即チ金ニ於キマシテハ製鍊
能力ガ著シク不足シテ居ル、製鍊能力サヘ
十分ニ出來ルナラバ、金ノ増産ハマダ相當
進ミ得ル、處ガ他方銅其ノ他……マア主ト
シテ銅デアリマスガ、銅ナドニ付テ申シマ
スルト、製鍊能力ハ非常ニ澤山遊ンデ居リマ
ス、何十「パーセント」ト云フ程能力ガ遊ン
デ居リマス、ソレハ即チ鑛石ガ足ラナイカラ

デアリマス、即チ之ヲ要約致シマス、金ノ方
ハ鑛石ヲ餘計出スコトモ大事デアリマスガ、
先ヅ製鍊能力ヲ餘計殖ヤスト云フヤウナコト
ニ重キヲ置ク、從ッテ之ヲ要約シテ參リマス
ト、金ノ方ハ産金振興會社ト云フヤウナモ
ノガ自ラ鑛石ヲ掘ルヨリモ、澤山アル業者
ノ中ニ立ッテ資金ヲ融通スルトカ、其ノ他

色々ナ御世話ヲシテ製鍊能力ヲ増加サセ、同
時ニ鑛物ノ増産ヲサセルト云フコトガ仕事
ノ要點ニナルノデアリマス、處ガ他方ハド
ウシテモ是ハ鑛物ノ増産ヲスルコトガ第一
デアル、即チ鑛山業ヲ主體トシタヤウナ形
態ヲ持タシタ特殊機構ヲ國トシテ持ツ必要
ガアル、即チ産金振興株式會社ノ方ハ資金
關係ニ重キヲ置イテ居リマス、此ノ帝國鑛業
開發株式會社ノ方ハ鑛山業……事業ニ主トシ
テ重點ヲ置カザルヲ得ナカッタト云フヤウ
ナコトガ第二點デアリマス、ソレカラ此ノ
日本産金振興株式會社ハ出來上リマシテマ
ダ第一期ヲ終ルカ終ラヌト云フヤウナ程度
デアリマシテ、ソレニ斯ウ云フヤウナ帝國
興業開發株式會社ノヤウナ仕事ヲ全部負ハ
セマス、折角軌道ニ乗リツ、アル所ノ日
本産金振興株式會社ノ能率ノ低下ト云フヤ
ウナコトモ虞レマシタシ、又金銀銅鑛トシ
テ鑛物ハ存在スル場合モアリマスガ、今日ノ

處大體金銀銅鐵ト云フヤウナモノガ取引サ
レル場合ニ於キマシテモ、自ラ金鐵トシテ
扱ハレル部分、或ハ銅鐵トシテ扱ハレル部
分ト云フモノガ一應區別シ得マスノデ、斯
ウ云フ風ニ分ケテモ差支ナイ、殊ニ資金ノ
關係等ニ於キマシテハ、金ノ……産金振興
株式會社ノ系統カラ金ガ行キ、或ハ色々ナ
御世話ガ行ク、更ニ又此ハ帝國鑛業開發株
式會社ノ働キニ依ッテ又金ガ出ルト云フヤ
ウナ手段ガ講ゼラレテモ一向差支ナイ、ノ
ミナラズ二重ノ投資トカ二重ノ手間ハ避ケ
ナクテハイケマセスガ、施設トシテ二重三
重ニナッテ増産ヲ刺激スルト云フコトハ喜バ
シイ原因デアリマスノデ、斯ウ云フ二ツノ
施設ニ致シタ次第デアリマス

○加藤敬三郎君 モウ少シ御伺ヒシタイノ
デスガ、一體其ノ特殊ノ會社ヲ拵ヘテ、ソ
レニ特權ヲ與ヘルト云フコトニナルト他ノ
一般ノモノノ發達ヲ害スルト云フノハ、是
ハマア普通ノ例デアルヤウデアリマス、從
來ノ例ニ依リマシテモ、滿洲ニモ産金會社
ノ特殊會社ガ出來ル、ソレカラ又此ノ産金
振興株式會社ト云フモノモ出來タノデアリ
マス、ドウモ其ノ從來ノ滿洲ノ金ノ發達シ
ナカタノモ滿洲國政府ガ之ヲ專掌シタト
云フヤウナコトガ是ガ大原因デアルヤウニ

思ヒマス、ソレカラ産金振興會社ガ出來マ
シテ色々ヤッテ居リマスケレドモ、産金振興
會社ガ出來タ爲ニ寧ロドカウト云フト、金
ノ産額ガ減ッタヤウニ思ハレル點モアル、是
ハ一ツノ會社ニシテ政府ノ方デ監督シ、之
ニ對シテ非常ナ援助ヲセラルケレドモ、
斯ウ云フコトハドウモ私ハ一般ノ經濟ノ原
則ニ依ルノガ一番良イト云フ考ヲ持ッテ居
ル、サウスルト、個人々々ガ自己ノ利益ノ
爲ニ非常ニ精力ヲ使ッテヤルト云フコトハ、
是ハ非常ナ力ナノデアアル、ソレデソレノ興
ル因ハ何デアアルカト云フト、利益デアアル
利益ヲ追求スルト云フ此ノ心理ヲ能ク利用
シテ發達セシメルト云フコトガ私ハ一番良
イト思フ、併シナガラ之ニ對シテ私ハ、假
ニ此ノ會社ガ出來マシテモ、色々ノ特權ヲ
與ヘマシテ居ルケレドモ、ソレニ對シテド
ウモ非常ニ色々固定スルモノガ出來ル、其
ノ固定シタモノヲ能ク償却シテ利益ヲ上ゲ
ルコトガ出來ルカドウカ、一體民間ガ之ニ
應ゼラレルカドウカト云フ點モナカク懸
念ノ點デアアル、形ハドウモ斯ウ云フヤウニ
スルト、如何ニモ出來サウニ思フケレド
モ、寧ロ一般ノ發達ヲ非常ニ害スルト云フ
ヤウニナリハセヌカ、實ハ産金會社ガ出來
ル時モ私ハサウ思ッテ居ッタガ、寧ロ現在出

來テ居ル價格ヨリモ餘計價格ヲ出シテ「プ
レミアム」ヲ出シテ買フト云フコトノ方ガ
宜クハナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、サ
ウスレバズツト擴ッテ來ル、詰リ今迄採算ニ
合ハナカタモノモ、其ノ價格デアレバ上ッ
テ來ル、サウシテ「デマンド・エンド・サップラ
イ」ノ原則ニ依ッテ是ガ能ク行ケルト云フヤ
ウニナルノガ一般ノ通則ダト思フノデアリ
マス、此ノ會社ガ出來テ、ドレダケ増産
ガ……出來ルカ、寧ロ増産ヲ妨ゲルヤウナ傾
向ガナイカ、今大河内子爵カラ公定價格ノ
御話ガアリマシタガ、私ハ實際必要ナモノ
ナラバ、高クテモ宜イデヤナイカト思フ、
又軍需品ニシテ、實際國ガ必要ナモノナラバ、
高クテモ宜イデヤナイカ、其ノ金ハ何處ニ落
チルカト云フト、皆國內ニ落ちル、ソレデ
國カラノ輸入ヲ成ルベク少クナルヤウニシテ
行ケバ宜イ、儲ケル人間ガ出來タナラバ、儲ケ
サシテ宜イ、儲ケタモノヲ又掘ヒ取ル方法ハ
別ニアアル、ソレヲ儲ケサセナイト云フヤウ
ナ考ガ違ッテ居ルノデ、實際ノ必要ナモノナ
ラバ、生活必需品ノヤウナモノト違ヒマシ
テ、斯ウ云フ國ニ必要ナ資材ニ屬スルヤウ
ナモノハ、高クスレバ皆割ニ合フカラ、ソレ
ヲ稼行スル者ガ出來ル、全般ガ總テソレニ
集中シテ行クト云フコトガ非常ナ強味デア

ル、滿洲ノ例ナドハ私共ハ切實ニソレヲ感
ズル、アノ爲ニ金ノ産額ガ少クナッタ、ソレ
デ何處迄モヤッテヤルガ宜シイト先刻御話
ガアッタガ金ノ方ハ製鍊所ト云フヤウナモ
ノハ、是ハ利益モ何モナク、國ノ爲ニナル
コトダカラ政府ガヤッテ、サウシテ非常ナ低
廉ナ、必要ナコトナラバ只デモヤルト云フ
風ニヤッテ、一般ノ利益ヲ「モノボライズ」セ
シメナイヤウニ、總テノ人間ニ利益ノアル
ヤウナ風ニシテ行ク方ガ、總テ發達シテ行
クデヤナイカト思フ、寧ロ此ノ會社ヲ拵ヘ
タ爲ニ産額ヲ増スト云フコトハムツカシイ
デヤナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレ
ニ對シテ政府ノ御考ハドウデスカ

○政府委員(小金義昭君) 金ノ場合ニ於キ
マシテハ、國家ガ製鍊所ヲ造リマシテモ、
職員ノ關係トカ、其ノ他色々ナ關係デ出來
マセヌ、是ハ日本産金振興株式會社ニ或程
度迄採算關係ヲ全然無視シタ方針デ製鍊サ
スベク、製鍊所ノ建設ノ計畫ヲ致サシテ、
三箇所位昭和十四年ニ開設スル見込デアリ
マス、銅其ノ他ノ鑛物ニ付キマシテハ、此
ノ會社ガ出來ルト、他ノ一般ノ經濟原則ニ
從ッテ活動スル者ノ活動ヲ阻止スル虞ハナ
イカト云フヤウナ御心配デアリマスガ、是
ハ全然私共ガ考ヘテ居ラナイ所デアリマシ

テ、簡單ニ銅其ノ他ノ金屬產ノ鑛區ノ狀態ヲ申上ゲマス、金屬產ノ鑛區ノ試掘權ハ八割乃至九割、八割何分ト云フモノガ手ガ著カナイノデ所謂休眠鑛區トナツテ居リマス、探掘鑛區ニ付キマシテモ、探掘鑛區ノ全體ノ半分以上、即チ五割以上ガ休眠鑛區ト云フ割合ニナツテ居リマス、此ノ探掘鑛區ノ方、試掘鑛區ノ方ノ一部ニハ、豫定計畫上當然マダ鑛區トシテハ手ガ著イテナイガ、其ノ鑛脈或ハ鑛山ノ開發トシテハ手ガ著イテ居ルト云フモノモ相當アルデアリマセウガ、要スルニ非常ニ鑛區ニ手ガ著イテナイト云フノガ現狀デアリマス、其ノ鑛區ノ中デ手ガ著イテナイモノニ手ヲ著ケテ、鑛物ヲ出サウト云フノガ此ノ計畫デアリマスカラ、是ハ他ノ一般ノ經濟原則ニ從ツテ利益ヲ追求スル所ノ企業ノ邪魔ニハナラスト思ヒマス、唯資材ノ配分等ニ於テ、幾ラカ此ノ會社ノ方ニ分ケテヤラナケレバナリマセヌカラ、是ハ増產ヲ期待シ得ル限リハ増額シテ、此ノ會社ニ分ケテヤツデモ一向差支ナイノデアリマス、ソレカラ寧ロ建値等ニ依ツテ色々考ヘテ、儲ケサス者ハ儲ケサシテモ宜イト云フ原則ヲ採ツタラドウカト云フヤウナ御説デアリマスガ、

ノデ、此ノ建値ヲドウ定メルカト云フコトニ付キマシテハ、定メ方ニ依リマス、非常ニ利益ガ上ルモノト、カス／＼シカ利益ガ上ラヌ、或ハ損ガ行クモノモ起リハシナイカト云フヤウナ點デ、色々考慮致シテ居リマス、先程大河内子爵ノ御尋ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、今後物價政策ニ關聯致シマシテ、増產計畫カラ見タ建値ヲモ十分考究致サナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、今ノ所デハ建値ハ色々關係カラ動カス譯ニハ行カスト云フ所デ參タノデアリマス

○加藤敬三郎君 是ハ意見ニナリマスカラ何デスガ、實ハモット他ニヤリ方ガアリハセヌカト云フ考ト、ソレカラモウ一ツハ、寧ロ之ヲ御ヤリニナルナラバ、產金振興會社ニヤラセヌ方ガ宜クハナイカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、餘リ私人デ質問致シマスト長クナリマスカラ、此ノ程度ニ致シマス

○長岡隆一郎君 私昨日軍ノ當局ノ御出席ヲ御願ヒシテ置キマシタガ、御見エニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、輕金屬ニ關スル事ニ付テ極メテ簡單ニ質問シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 宜シウゴザイ

マス

○長岡隆一郎君 軍當局ニ伺ヒタイノハ、軍備ノ整頓上、軍用資材トシテ「アルミニウム」ノ重要缺クベカラザルコトハ、是ハ私カラ申上ゲル迄モナイ、況ヤ銅ハ其ノ生産ガ只今モ御話ガ出マシタヤウニ、國內的ニハ寧ロ低下ノ傾向ニアルノミナラズ、世界的ニ見テモ同様ノ傾向ヲ辿リツ、アル今日デアリマスカラ、「アルミニウム」ノ需要ハ一層重要性ヲ増加スルモノト存ジマス、然ルニ現在ノ狀況ヲ見マスト周知ノ如ク此ノ原料ノ「ボーキサイト」ハ「ジョホール」及主トシテ蘭領ノ「ピンタン」島カラ供給ラ仰イデ居ル、是ハマア三十年ト云フ契約ガ出來テ居ルヤウデアリマスケレドモ、「ヨーロッパ」ノ形勢ニ依リマシテハ或ハ某國ガ輸出ヲ禁ズルカモ知レヌ、又蘭領ノ背後ニアル國ガ蘭領ヲ操ツテ輕金ノ輸出ヲ妨害スルカモ知レヌト云フ虞ハ決シテ空想デハナイト思ヒマス、然ラバ「ボーキサイト」以外ノ原料ガナイカト申シマスト「アルミナ」ノ原料ハ地球上到ル處ニアルノデ、學者ノ說ク所ニ依レバ地殻ノ四「パーセント」ハ「アルミナ」ダト云フコトデアリマス、粘土其ノ他ノ材料ニ依リマスル時ハ採算上「ボーキサイト」ニ比シテ不利益デアルコト

ハ當然デアリマスケレドモ、研究、努力宜シキヲ得レバ必ズシモ經濟上ニ成リ立チ難イトハ言ヘナイノデアリマス、況ヤ比較的優良ナル國產原料ヲ用ユル時ハ、今日ニ於テモ營利的ニ相當引合ッテ行クコトト思ヒマス、本員ハ專ラ外國ヨリ輸入スル原料ニ依存スルヨリハ、是ト竝行シテ寧ロ外國原料ヨリハ優先的ニ國內原料ヲ使ハセルヤウニ仕向ケテ、國內原料ニ係ル「アルミナ」又ハ「アルミニウム」ノ製造ヲ獎勵、助成セラレル必要ガアルト思ヒマスガ、軍當局ノ御見解ハ如何デアリマス

○政府委員(中西貞喜君) 誠ニ御尤ナル御意見デゴザイマシテ、私共モ原料ニ於キマシテ、帝國ノ勢力範圍内ニ於テ自給自足可能ナルモノヲ出來ル限リ速カニ利用シ得ルヤウニ至ラムコトヲ切望シテ居ルノデゴザイマス、只今日「ボーキサイト」ニ依存スルノ已ムヲ得マセヌノハ、何ト致シマシテモ現在ノ技術ニ於キマシテハ、飛行機ノ材料トシテ使用可能ナル優秀ナル輕金屬ト云フモノガ得ラレナイト云フ點ニアルノデアリマシテ、現在ノ我が國ノ輕金屬生産可能量ノ見地カラ、陸軍ト致シマシテハ、出來ルダケ多量ノ質ノ良イモノヲ得タイ、從ヒマシテ已ムヲ得ズ差當リ「ボーキサイト」ヲ使ッテ

貫ッテ居ルト云フ次第ゴザイマシテ、方針ト致シマシテハ、飽ク迄帝國ノ勢力範圍内ノ資源ヲ自給自足ガ出來ルヤウニ邁進ヲスベキデアルト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 軍當局ニ對スル質問ハ是デ終リマス、商工大臣ハ午後御出席ニナルト云フコトゴザイマスガ、其ノ前ニ事務的ノコトヲ二三商工省ノ政府委員ニ御尋ネシテ宜シウゴザイマスガ、ソレトモ會社案ノ方ガ濟ジデカラニ致シマセウカ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 成ルベクナラバサウ御願ヒシタイノデアリマス、併シ只今外ニ御質疑ガナケレバ、此ノ時間ヲ御利用下サッテ一向差支アリマセス、他ニ會社法案ニ付キマシテ御質疑ガゴザイマセスカ

○男爵肝付兼英君 外ニ御質問ガナケレバ二點バカリ御伺致シタイと思ヒマス、開發會社ノ方ノ營業ノ内容デゴザイマスルガ、玆ニ六項目バカリ舉ゲテオイデニナリマス、尙此ノ終ヒニモ此ノ事業ノ外、本會社ノ目的達成上必要ナル諸事業ヲ營ムコトヲ得ト云フコトデ、全部ヲ包括シテ居ラル、ヤウデゴザイマスガ、其ノ諸事業ト云フ内ニドウ云フコトヲ見込シテオイデニナルノデゴザイマセウカ、實ハ斯ウ云フ開發會社ヲ御計畫ニナルニ付テ、特ニ我々トシテ希望

致シタイ問題ガアル、一例ト致シマス、最近福島縣ニ此ノ重要礦物ニ關シマスル小鑛區、或ハ貧鑛區ト云フ種類ノモノガ可ナリ澤山存在致シテ居リマス、ソレノ皆小サイ爲ニ獨立ノ經營ガ困難ナル、斯ウ云フ小サイ鑛山ニ對シマシテ、例ヘバ其ノ一ツ一ツニ政府ガ御補助ニナッテミタ處ガ、最後ノ目的ハ矢張り達セラレナイ、結局ハ是ト綜合シテ計畫ニ依ッテ初メテソレノ鑛區ガ營利的ニ成立スルト云フ場合ガ有リ得ルダラウト思フノデアリマシテ、特ニ福島縣ノ如キハ一番困難ヲ感ジテ居リマスルノガ輸送機關ノヤウデゴザイマス、或ハ「ケーブルカー」、或ハ自動車道路、或ハ電車トカ其ノ他輕便鐵道アルトカ云フヤウナモノヲ適當ニ考慮シテ戴カナイ限り、出シマシタ鑛物ヲ適當ナ場所ニ輸送スルコトガ出來ナイ、何レノ鑛山モ規模ガ小サイシ資本ガ小サイ、爲ニ此ノ施設ヲ計畫スルコトガ出來ナイト云フヤウナ例ガアルノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テハ勿論、政府ト致シマシテハサウ云フヤウナ輸送機關ト云フモノヲ此ノ會社ニ依ッテ經營セシメラレテ、サウシテ是等ノ鑛石ヲ適當ナ地域迄運ンデヤルト云フヤウナ御計畫ガアツテ然ルベキダト思フノデゴザイマスガ、其

ノ點ニ付テ一應伺ッテ見タイと思ヒマス
○政府委員(小金義昭君) 只今肝付男爵ガ御指摘ニナリマシタ内、小サイ鑛區ヲ纏メテ開發サセルヤウナ場合ノ手段ハ、此ノ帝國鑛業開發株式會社ハ、鑛區ヲ買取ル場合ト、共同鑛業權者トナル場合ト、此ノ二ツノ大體方法ニ依ッテ鑛區ノ開發ヲスル、左モナイ場合ニ於テハ一部金ヲ貸付ケテヤルト云フコトガ考ヘラレマス、併シナガラ其ノ後段ノ輸送機關等ノ事業ヲヤッテ、小サイ鑛山ノ活動ヲ促シタラドウカ、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマスガ、非常ニ御尤モデアリマシテ、其ノ場合ニ於キマシテハ大體道路ヲ造ッテヤルトカ、「トラック」ヲ以テ鑛石ヲ運搬シテヤルトカ、或ハ「ケーブル」ヲ附ケルトカ云フヤウナ、所謂運輸施設ヲシテヤルト云フヤウナコトガ考ヘラレマスガ、ソレ等ハ御説ノ通り第十一條ノ第二項ノ事業トシテ營ムコトガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、尙小サイ山ノ真中ニ持ッテ行ッテ鑛場ヲ造ッテ、サウシテ品位ヲ上げテ、其ノ鑛石ヲ製鍊所ニ運ンデヤルト云フヤウナコトモ一方法カト存ジマスガ、要ハ其ノ鑛區地帯ニ於ケル埋藏量ノ問題ニ歸スルト思ヒマス、相當ナ施設ヲシテモ尙其ノ鑛石ヲ出ス必要ガアル程度ノ埋藏量デアリマスナラ

バ、此ノ會社ノ目的達成上必要ナル事業ノ一ツトシテ經營スルコトヲ許可スル方針デアリマス、差當ッテハ何處ニドウト云フコトハ考ヘテ居リマセスガ、具體の場合ニ付テハ十分考慮シテ、其ノ事業ノ經營ヲ認メル豫定デゴザイマス
○男爵肝付兼英君 只今ノヤウナ場合ニ於キマシテ、大體サウ云フ貧鑛ヲ持ッテ居ル方々ノ何ト申シマスガ、所有者ト云フヤウナ方々ガ大シテ斯ウ云フ方面ノ知識ヲ持ナイ方ガ多イ爲ニ、自發的ニサウ云フコトヲ政府當局ニ要望スル場合ガナイノガ多イラシイノデアリマシテ、斯ウ云フ點ハ寧ロ政府カラ進ンデ、サウ云フ所有者ノ方々ヲ勸誘シテ協同的歩調ヲ取ラセル、或ハ合資ニ依ッテ協同的設備ヲスル、或ハソレデモ間ニ合ハナイ場合ハ、政府自體サウ云フ輸送機關ヲ設ケテ、開發サセルト云フ位ニ迄積極的ニ御出ニナラナイト、ナカノ私ハ目的ガ達セラレナイノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、其ノ邊ヲ十分一ツ御考慮願ッテ置キタイと思フノデアリマス、ソレカラ第二點ニモウ一ツ伺ヒタイノハ、サウ云フ貧鑛或ハ貧脈トデモ申シマスカ隨分澤山アルヤウデアリマシテ、ソレノ小サイ資本家ガ持ッテ居リマシテ、自分ガ經營スル迄

モナク、或ハ適當ナル機會ニ賣ッテシマヒ
タイト云フヤウナ希望ヲ持ッテ居ル者モ澤
山アルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ此ノ

會社ニ依ッテ積極的ニ開發サセラレタ結果
ハ、其ノ鑛石ノ埋藏量等カラ考ヘマシテ、
中ニハ少シ大規模ニ出シマス、一年ナラ
ズシテ原料ガナクナッテシマフ、鑛石ガ掘リ
盡サレテシマフ、二三年デナクナッテシマ
フト云フヤウナモノガ随分澤山私ハアラウ
ト思フ、大體鑛山ヲ經營スル場合ハ少ク
モ三十年、五十年此ノ規模ニ於テ計畫シテ
モ、鑛石ガナクナラナイト云フコトヲ目標
トシテノ會社ノ所謂經營ダト考ヘラレルノ
デスガ、然ルニ斯ウ云フ會社ガ積極的ニ御
勵キ掛ケニナル結果ハ、場所ニ依ッテハ五
年デナクナッテシマフモノガ出來ル、場合ニ
依ッテハ二三年デ鑛石ガナクナッテシマフト
云フ所モ生ズルト思フ、サウ云フ小サイ會
社ハ積極的ニ御勵キ掛ケニナリ、ソレニ資
本ヲ貸與ヘ、或ハ設備ヲ援助シテ御ヤリニ
ナッタ結果三年五年デ此ノ會社ガ仕事ガナ
クナッテシマフト云フコトニナルト、一體其
ノ投下シタ資本ナリ其ノ會社ト云フモノノ
將來ニ付テハ、相當ナ色々ムツカシイ問題ガ
私ハ殘ルト思フ、斯ウ云フ問題ニ付テハ當
局トシテハドウ云フ風ナ御考ノ下ニ御計畫

ニナルノデゴザイマセウカ、伺ッテ見タイト
思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 斯ウ云フ際ニ於
キマシテハ、貧鑛ノ利用ガ非常ニ大切デア
リマス、マア言葉ハ惡イノデアリマスガ、
弱小トカ中小トカ云フ鑛山ノ開發ハ言フベ
クシテ非常ニ行ハレ難イコトハ、今肝付男
爵ノ仰セノ通りデアリマス、ソコデ斯ウ云
フ帝國鑛業開發株式會社ト云フヤウナモノ
ガ片棒擔イデ、三年デモ五年デモ山ノ脈ガ
盡キテモ構ハスカラ開發スル、其ノ損失ハ
國家ガ補償スルト云フヤウナ建前デモ執ラ
ナイト、事實上出來得ナカッタノハ今日迄ノ
狀況デアリマス、ソコデ此ノ會社ガサウ云
フ勵キヲ爲スト云フ建前デ造ラレテ居リマ
ス、要ハ先ヅ第一ニ、地質、鑛床ノ調査ガ
先決問題デアリマス、其ノ爲ニ昭和十三年
度以降相當ナ經費モ戴キマシテ、殊ニ十四
年度ニハ又殖ヤシテ戴イテ、地質、鑛床ノ
調査ヲ政府ガ先キニ立ッテ極力行フ豫定デ
アリマス、ソレニ續イテ重要鑛物ノ採鑛獎
勵金約百十萬圓足ラズデアリマス、之ヲ能
ク利用シテ探鑛ヲ十分セシメルト云フ方針
デアリマス、其ノ次ニ唯地質、鑛床ノ調査
トカ各鑛山毎ノボソ／＼小サク切ツモノ
以外ニ、相當ナ規模デ重要鑛物ノ鑛床ノ調

査即チ「ボーリング」モ含メタ鑛床ノ調査ト
云フコトモヤリタイトアリマス、此ノ帝

國鑛業開發株式會社ノ事業ノ一ツトシテ考
ヘテ居ルノデアリマス、仰セノ通り小サイ
山ハナカ／＼開發スルノハムツカシイノデ
アリマスガ、マア世間デ大鑛山ト言ハレテ
居ルヤウナモノモ、大體ニ於キマシテ元ハ
小サイ鑛山デアッタノデアリマス、小鑛山ノ
開發ハ實ハ大鑛山ヲ發見スル最大ノ要素デ
アリマシテ、二十三十中小ノ鑛山ヲ開發シ
テ行ク中ニ、其ノ一ツガ大キナ山ニダッテ何
十年或ハ何百年モ探鑛ガ出來ルト云フヤウ
ナコトニナッテ來タノデアリマス、サウ云フ
ヤウナ關係デアリマスカラ、貧鑛ノ處理ト
云フ一面、又大鑛山ヲ發見スル唯一ノ方法
デアル所ノ、小鑛山ノ開發ト云フコトヲ力
ヲ注ギタイト考ヘテ居リマス

○男爵肝付金英君 只今ノ御話デ能ク分リ
マシタガ、現ニ未開發ノ鑛山ノ中デ大キナ
會社ガ相當ニ將來ヲ見込シテ居ル、デ
其ノ會社ハ現ニ或程度ノ開發ヲシテ居ル、
從ッテ表カラ見マスレバ此ノ會社ハ十分開
發シテ居ッテ相當ニ活動シテ居ルノデアリマ
スガ、内容ヲ調べタナラバ未開發ノモノモ
相當場所アル、斯ウ云フモノヲ今直チニ開
發セシムルト云フコトニナリマスルト、其

ノ會社ガ、可ナリ大キナ會社ガ、折角相當
長年月經營スル目的デ「ストック」シテアルモ
ノヲ此ノ際同時ニ手ヲ著ケナケレバナラヌ
ト云フコトニナルト、サウ云フ大キナ會社
トシテハナカ／＼重大問題ニナッテ來ルト
思ヒマスガ、矢張りサウ云フモノモ適當ニ
同時ニ開發サセルヤウニ、積極的ニ御勵キ
掛ケル御意思デアリマスカ

○政府委員(小金義照君) 其ノ通りデアリ
マシテ、計畫ノ途中ニアッテ、マダ其處迄進
マナイトカ、或ハ其處ノ山ハ此ノ手順デ何
時頃開發スルンダト云フ計畫ノハッキリシ
タモノハ宜シウゴザイマスガ、唯未開發ノ
儘漫然持ッテ居ルヤウナモノニ付キマシテ
ハ、重要鑛物増産法ヲ適用シテ、相當開發致
サセタイト思ッテ居リマス、ソコデ民間同志デ
ハナカ／＼容易ニ行クマイト云フヤウナモ
ノニハ、其ノ相手方ニ帝國鑛業開發株式會
社ガ相手トナルコトモ相當豫想シタイト考
ヘテ居リマス、ソコデ大キナ山ガ二十年三
十年ノ計畫デ、山ノ開發ヲ始メテ、ソコデ
未開發ノ鑛脈ヲ開發セシメラレテ、其ノ山
ノ計畫ガ狂フト云フヤウナコトモ考ヘマシ
テ今度此ノ重要鑛物ト云ハズ主モナ鑛物ニ付
テハ、出來ルダケ探鑛獎勵金ヲ交付致シマ
シテ、之ニ代ハルベキ鑛脈ヲ早く發見サセ

テ、サウシテ今迄分ッテ居ルモノハ十年ノモノハ五年デ掘リ盡シテシマフヤウナ計畫ヲ立テサセテ居リマス、其ノ重要礦物増産法ノ第二條ノ規定ニ依リマシテ、政府ハ重要礦爲ノ増産ヲ圖ル爲必要ナリト認ムルトキハ重要礦物ヲ目的トスル鑛業權者ヲシテ事業計畫ヲ定メ之ヲ届出ヅベキコトヲ命ズルコトヲ得、此ノ規定ニ依ッテ命令ヲ出シテ居リマス、從ヒマシテ鑛業權者ハ事業計畫ヲ商工省ニ出シテ届出テ居リマスカラ、ソレニ依ッテ此方デ事業計畫ノ審査ヲ致シマス、ソレデ若シ適當デナイ場合ニ於キマシテハ、其ノ重要礦物増産法第二條ノ第二項ノ規定ニ依ッテ事業計畫ノ變更ヲ命ジ得ルコトニナッテ居リマスカラ、ソレニ依ッテ變更ヲ命ズルノデアリマス、處ガ今日ハ資材勢力等ノ關係デ、徒ラニ事業計畫ノ變更ヲ、命令ヲ出シテ擴張サセタダケデス、實效ヲ期シ難イノデアリマスカラ、資材關係ノ方面ノ官廳ト相談シテ、具體的ニ鑛山ノ開發ヲ十年デヤラレルモノヲ七年五年ト早ク開發シテ、御役ニ立テルヤウニ仕向ケツ、アルノデアリマス

色々ノ資材ノ關係デ困難ナモノガ多數アラウト思ヒマス、特ニ此ノ自動車道路ノ如キハ成ルベク早く道路ヲ付ケテ、「トラック」デ輸送スルト云フコトガ今日デハ一番簡單ナ方法ダト思ヒマスガ、其ノ「トラック」デスカラナカ／＼手ニ入ラナイ、重要礦物ト云フモノヲ軍需資材トシテ此ノ程度ニ重要視ナサルノカ知リマセヌガ、ナカ／＼サウシタ「トラック」ヲ分ケテ貰フコトハ事實上困難ナコトガ多イヤウデアリマスガ、此ノ點ノ御考慮ヲ願ヒタイノト、ソレカラ會社自體ガ道路ヲヤリ出ス場合ニハ、其ノ中間ニ官有地ガアッタリスル場合ニ之ニ手ヲ著ケルコトヲソレ／＼ノ縣デ以テナカ／＼許可致シマセヌ爲ニ、折角道路ヲ途中迄付ケテモソレデ停頓シテシマッテ、何年モ其ノ儘道路ヲ付ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ實情ヲチョイ／＼聞カサレテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ハ政府ニ於テ十分認識サレテ、ソレ／＼ノ官有地ニ於ケルサウシタ何カ問題デモ出來タ場合ニハ十分一ツ道路ノ開發ノ爲ニ便宜ヲ圖ッテオヤリニナルコトガ私ハ非常ニ必要デヤナイカト思フノデアリマス、ソレ／＼見マスルト、色々ノ鑛石ヲ山ノヤウニ自分ノ山元ニハ積ミ上ゲテ居リマスガ、ソレカラ先ドウスルコトモ出來

ナイデ皆喘イデ居ル小サナ中途半端ナ鑛山ガ各所ニアルコトヲ見聞キ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ハ一ツ輸送機關ノ完備ト云フコトニ十分御努力ヲ願フコトガ先決問題グラウト思ッテ居リマス、此ノ機會ニ御願ヒ申上ゲテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○子爵大河内正敏君 帝國鑛業開發株式會社ノ全般的ナコトニ付テ少シ御伺ヒシタイノデアリマス、先程加藤委員カラ御話ノアリマシタ産金振興株式會社ノ方ハ、大體ニ於テ案ノ趣旨ハ金融ヲ十分ニ付ケテヤラウ、資本ヲ潤澤ニ供給シテヤラウト云フノガ案ノ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス、今度ノ帝國鑛業開發株式會社ハソレト少シ違ッテ参リマシテ、先ツ第一ニ重要礦物ヲ目的トスル鑛業ヲ營ム、自ラ自分ガ鑛業ヲヤルト云フ積極的ニナッテ居ル點ニ於テ非常ニ改良サレテ居ルト思ヒマス、或ハ自ラ鑛床ノ調査ヲスル、或ハ鑛物ニ對スル技術ノ指導ヲスル、ソレハモウ非常ニ私ハ必要ナコトト思ヒマス、前ニ出來タ産金振興會社ヲヤッテ見テ、單ニ金融ノ援助ダケデハ不十分デアルト云フコトガ能ク御分リニナッタ爲ニ、今度斯ウ云フモノガ出テ來タノダト思フノデアリマス、サウスルト云フト此處デ一番ニ

考ヘナケレバナラナイノハ、斯ウ云フ實際ニ調査モシテヤラウ、自ラ鑛業モ營マウ、技術者モ指導ヲショウト云フ場合ニ、先刻モ御話ノアリマシタ技術者ガ如何ニシテ得ラレルカト云フコトデアリマス、デ是ガ從來商工省ノ技術陣ト云フモノガ十分充實シテ居リマス、斯ウ云フ案ガ出テモ、容易ク其ノ方ニ振リ向ケテ行クコトガ出來ル、日本製鐵株式會社ガ官營ノ場合ニハ鐵ニ關スル技術者ノ權威ト云フモノガ殆ド商工省ニ集ッテ居ッタト言ッテモ宜イ位デアリマシタガ、サウ言フ人達ハモウ今ハ殆ド民間ヘ出テ行ッテシマヒマシタ、從ッテ現在ノ商工省ノ技術陣ト云フモノハ殘念ナガラ決シテ十分デアルトハ言ヘナイト思フ、ソレニ對シテ商工省ノ方デハ特ニサウ云フモノニ對スル充實ノ問題ヲ御考ニナッテ居リマセウカ、ソレカラ前ノ産金振興會社ニ對スル時ト今度多少御考ガ變ッテ居ルノカドウカト云フ二點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 誠ニ御尤ナ御説デアリマシテ、商工省ノ此ノ方面ニ關スル技術者ニ付テノ御心配ハ、豫算其ノ他從來ノ關係カラ見マシテ誠ニ已ムヲ得ナカッタ所ト思ヒマス、只今ノ御尋ノ商工省ニ於テ技術者ヲドウ云フ風ニ充實スル計畫カト云

フ點ニ付キマシテハ、是ハ此處デ御説明申上グルコトハ差控ヘナケレバナラスト存ジマスガ、相當ナ所迄突込シタ具體案ヲ持ッテ居リマス、之ニハ大學ヲ初メ、實ハ民間ノ方カラモ人材ヲ得タイノデアリマスガ、民間カラ積極的ニ引上グルコト云フコトハ慎マナケレバナラスガ、苟タモ此ノ方面ノ技術者トシテ商工省ノ爲ニ援助シヨウト言ハレル方々ノ御援助ヲ御願ヒスル積リデアリマス、ソレカラ第二ノ帝國鑛業開發株式會社ヲ設立スルニ當ッテハ、色々前ノ問題ヤ經過ヲ能ク見テ十分覺悟シタカト云フ御質問デテリマスガ、ソレハ日本產金振興株式會社ヲ立テ爾時トハ相當違タ氣持ト意氣込ヲ以テ今大河内子爵ノ御指摘ニナツタ點ヲ實現スバク是モ亦具體的ニ申上グルコトハ差控ヘマスガ、御説ノ通り計畫ダケデハ勿論イカヌノデ、一番大事ナ點ハ技術者ノ陣容ニアルト云フコトハ重々覺悟致シテ居リマス

○子爵大河内正敏君 能ク分リマシタ、次ニ斯ウ云フコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、或ハサウ云フ御考ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマスガ、現在ノ狀況デ行キマスト云フト、或種ノ製造業者ハ儲カリ過ギル、或種ノモノハヤット一杯々々喘イデ行クト云フコトノ御説ガゴザイマシタガ、其ノ通りダト私ハ思ヒマス、ソコデ斯ウ云フ會社ガ出來マシタ以上此ノ會社自體ガ製鍊業ニ乘リ出スト云フコトハ是ハ一番宜イコトト私ハ思フノデアリマスガ、今日ハ鑛石モ十分無イ、或ハ又サウ云フコトヲヤルト云フト既存ノ業者ニ對スル脅威ニナルト云フ問題モ亦考ヘナケレバナリマセヌ、色々ナ事柄カラシマシテ、此ノ會社ガ製鍊業ヲ自分カラ多少ノ損失ヲ忍ンデモヤル、即チ算盤ノ採レナイ貧鑛ヲ處理シテ、サウシテ日本ノ重要金屬ノ產出ヲ増加シテ行カウト云フコトガ出來マセヌノデスカラ、此處デ儲カリ過ギルト思ハレルモノニ對シテ、貧鑛製鍊ヲ強制的ニヤラセルト云フコトハ出來ナイモノデゴザイマセウカ、貧鑛デ是デハチヨット製鍊ニ金ガ掛ツテ一杯々々ニシカナラストカ、或ハ少シ損ガ行ク、併シ外ノ鑛石ヲ製鍊シテ非常ニ利益ヲ得テ居リマスカラ、無論其ノ場合ニハ製鍊能力ヲ擴張シテ併セ製鍊スル、貧鑛ト富鑛ヲ併セ製鍊スルト云フ取り方ヲ執ッテ、餘計生産スルケレドモ、其ノ割合ニ利益ノ出ナイヤウナ方式ヲ執ッテ、増産ヲ圖ルコトハ出來ナイデアリマセウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(小金義昭君) 此ノ會社ガ自ラ製鍊事業ヲヤラナイト申上ガマシタノハ、ヤレナイノデハナクシテ御説ノ通り鑛石ガ非常ニ不足デアル、ソレカラ今日ノ日本ニアル製鍊能力ガ遊ンデ居ルト云フ點ニ鑑ミマシテ、自ラヤラナイノデアリマス、而シテ貧鑛處理ノ問題ニ付キマシテハ此ノ會社ガ選鑛場ヲ設ケマシテ、其ノ選鑛場デ貧鑛ヲ澤山集メマシテ品位ヲ上げテ、サウシテ之ヲ製鍊業者ニ賣ルト云フコトニ致シマス、ソコデ此ノ選鑛ニ際シテ此ノ會社ハ相當ナ犧牲ヲ拂ッテ、貧鑛ヲ世ノ中ニ出スト云フ計畫ヲ持ッテ居ルノデアリマス、次ニ貧鑛處理ニ付テ或業態ノモノハ、殊ニ輸入鑛石等ヲ使ッテ居ル場合ニハ相當利益ガ舉ガルノデアルカラ、事實上貧鑛處理ノ強制ヲスル必要ハナイガラウカト云フ御考デアリマスガ、是ハ私共同感デアリマシテ、實ハ重要鑛物増産法ノ第二條ニ依リマシテ、鑛業權者ヲシテ事業計畫ヲ定メテ之ヲ届出サセ、其ノ事業計畫ヲ處理スル場合ニ、事實上上部仰セノヤウナコトヲ行ツテ、製鍊能力ノ擴張竝ニ採鑛能力ノ擴張ヲ實施サセツ、アリマス、例ヘバ一日ノ處理鑛石ノ能力ガ八百トシカ出來マセスト云ウテ來ラレタノニ對シ、兎ニ角サウ云フ管ハナイノダ、是ダケノ品位ヲ落セバマダ其ノ山ニハ是々ノ數量ノ鑛

石ガ採掘セラレ同時ニ製鍊セラレルカラ、之ヲ九百トシ、或ハ千トシノ製鍊能力ニ擴張サセテ居リマス、事實上サウ云フコトモ重要鑛物増産法等ノ關係デ實行致シテ居リマス

○子爵井上匡四郎君 只今ノ大河内子爵ノ技術者ニ關スル御質問ニ關聯シマシテ、私モ同ジ趣旨デ御尋ネシテ見タイト思ヒマスガ、政府ニ鑛山ニ關スル技師ガ少イト云フコトハ、是ハ屢々外ノ問題ニモアリマシタヤウニ總テノ、殊ニ鑛業ニ對シテハ組織ガ違ッテ來タコト、即チ從來ハ自由經濟ノ下ニ唯政府ハ鑛業ト云フモノヲ監督スレバ宜カッタガ、近來ハ計畫經濟ト申シマスカ、從ッテ政府ガ指導的ノ位置ニ立タナケレバナラスト云フ非常ニ大キナ變化ヲ來シマシタ爲ニ、技術者ノ缺乏ヲ感ズルト云フコトハ當然ナコトデアリマスガ、從ッテ此ノ新情勢ニ對處スル爲ニ、コソデ政府モ少シ將來ニ付テ技術ヲ指導シテ行クト云フ見地カラ、新シイ考ヲ少シ持タレナケレバナナイノデハナイカト云フ感ジガシマス、ソレニハ外ノ機關ニ對シテハ相當ノ研究所ガアル、工業試驗所ト云フガ如キ、古クカラサウ云フ機關ヲ政府ガ置イテ、或種ノ工業ニ對シテハ研究指導ノ出來ルヤウナ建前ニナツテ居ッ

タノデアリマスガ、此ノ鑛山、鑛業ニ關スル限り一切サウ云フモノガナイ、是ハ其ノ必要ガナイノカト云フト決シテ私ハサウデナイト考ヘマス、唯、今迄サウ云フ研究ト云フノハ、比較的鑛業ト云フノガ、大キナ資本家ニ、ソレノ研究ヲ委ネテ居タト云フ情勢デアッタノデアリマスガ、現在ニナツテハソレデハ遺憾ガアルノデハナйка、政府ガ指導的ノ立場ニナツテ技術ヲ研究シ、大會社ヲ指導スルダケノ研究ヲ政府ガ持タナケレバナラス、權威ヲ持ッテ行カナケレバナラスノデナйкаト考ヘル、然ラバサウ云フ研究事項ト云フモノガナイノデアアルカト云フト、私ハ非常ニ大キナ問題ガサウ云フ所ニ横タハッテ居ルト考ヘルノデアリマス、一々例ヲ申ス必要モナイデアリマセウガ、例ヘバ日本ニ於ケル石炭ノ掘リ方ト云フヤウナ根本的ナ問題ニ於テモ餘程考ヘナケレバナラス、今ノ大會社ガ正シイ掘リ方ト云フコトニ付テノ理解ヲ持ッテ居ルカドウカト云フコトデサヘ私ハ疑ハザルヲ得ナイ、其ノ他日本ノ硫黄ノ中ニハ「セレニウム」ヲ含ンデ居ルト云フヤウナコトハ周知ノ事實デアアル、或ハ日本ノ、私ガ書生ヲシテ居ル時ニ「ドイツ」デ聞イタ話デアリマスガ、其ノ當時日本カラ行ク硫黄

ノ中カラ、「ドイツ」デハサウ云フモノヲ採ッテ居ッタ、最近デハ砂鐵ノ中ハ「バナヂューム」ト云フモノガアルガマダ本當ニ能ク利用サレテ居ラス、是モサウ云フコトニ關係シタ僅カノモノガ營利的ニ、研究ヲスルト云フコトニ止ルノデ、斯ウ云フ問題ハ政府ガ、根本的ニ日本ガ貴重ナ資源ヲ完全ニ利用スルヤウナコトヲ、政府ガ指導シテ行カナケレバナラス、サウ云フ例ヲ舉ゲマスレバ多々アルト思フ、又鑛業者ト云フモノハ一種ノ流行ニ走ッテ一方ニ偏シテ居ルト云フヤウナ嫌ガアルヤウデアリマス、工業試驗所ト云フモノガ近頃段々其ノ範圍ヲ擴張シマシテ、元來ハ化學工業ト云フヤウナモノガ主ナル研究事項デアッタヤウデアリマスガ、近頃ハ大分製鍊ト云フヤウナ方面ニモ入ッテ來テ居リマス、決シテ私ハソレハ惡イト云フノデハナイ、併シ工業試驗所デハ本當ノ鑛業ノ根本的研究ヲスルト云フコトハ其ノ建前カラ出來ナイ、何カ將來斯ウ云フ計畫經濟ノ下ニ、政府ガ鑛業ヲ指導シテ行カナケレバナラスト云フ時勢デアリマスカラ、何カサウ云フ機關ヲ政府ガ御考ニナツテ、日本ノ最善ノ知識ヲ其處ニ集注シ、ソレニ依ッテ指導監督ヲ期シテ行クヤウナ風ニ御考ヲ向ケラレテハ如何デアリマセウ

○政府委員(小金義昭君) 誠ニ御尤ナ御意見ト存ジマス、今日デハ既ニ大鑛山業者ガ區々ニヤッテ居ルヤウナ意味ノ試驗研究デハイカヌノデ、製鍊或ハ採鑛ニ關スル只今仰セノヤウナ機關ヲ設ケマシテ、鑛山業ノ指導ニ完璧ヲ期スルヤウニ向ッテ行カナケレバナラスト云フ時ト存ジマス、唯サウ云フ計畫モ考ヘナカッタ譯デモアリマセヌガ、色々ナ都合デマダ實現ヲ見テ居リマセヌガ、是ハ是非共私共ノ仕事トシテ何トカ實現スルヤウニ努力致シタイト存ジマス

○子爵井上匡四郎君 他ノ問題ニ付テ御尋シテ見タイト思フノデアリマスガ、必ズシモ貧鑛デナクシテ、鑛山ノ其ノ鑛區ノ所有者モ必ズ是ハ儲カルト云フ鑛石ヲ保有シテ居ル、併シ其ノ會社ノ趣旨カラ、例ヘバ開發會社ト云フヤウナモノハ餘リアリマセヌガ、自分デ仕事ハシナイ、鑛山ヲ開發シテソレヲ脇ニ賣ルコトガ自分ノ仕事デ、又サウ云フ會社ノ出來ルコトガ私ハ鑛業發達ノ爲ニ非常ニ良イコトト思ッテ居リマス、實際ノ例ヲ知ッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ開發會社ハ相當鑛山ヲ開發シタガ、ソレハ勿論營利會社デアリマスカラ、其ノ鑛山ヲ他ニ賣却スルト云フコトニ付テノ値段ノ打合ガ付カナカッタト云フノデ相當良イ鑛山

ヲ持ッテ居ル、サウ云フモノガアルカドウカ知リマセヌガ、サウ云フ場合ニハマア開發ハソレデ濟ンダト云フコトデ長ク其ノ儘置イデアアル、即チ睡眠鑛區デアアル、サウ云フモノヲ若シアリトスレバ、此ノ場合ニ勿論其ノ鑛石ヲ利用セナケレバナラスト思ヒマスガ、貧鑛デモドウセ引合ハヌノダト云フコトデアレバ、是ハ値段ナンカノ關係モ相當ニ簡單ニ折合フト思ヒマスガ、サウ云フ誰ガ見テモ引合フノダ、併シ會社ノ性質上自分デハ仕事ヲシナイト云フコトデ、良イ鑛山ヲ持ッテ居ル者モ此ノ場合其ノ鑛石ヲ取ルト云フコトニ付テ其ノ全部ト云フカ、ソレヲ代行サセル、「トシ」當リノ價格ト云フモノハドウ御決メニナリマスカ

○政府委員(小金義昭君) 此ノ會社ガ關與スル場合ニ於キマシテハ、共同鑛業權者ニナル場合モアルノデアリマス、ソレカラ又鑛物ヲ買ッテヤルト云フコトモ出來マスガ、今ノ御說ノヤウナ場合ニ於キマシテハ恐ラク重要鑛物増産法ノ適用ヲ此ノ會社ガ積極的ニ持出シテ、サウシテ其ノ鑛區ノ開發ヲ圖ラセルト云フノガ一番適當デアラウヲ考ヘテ居リマス、ソレハ重要鑛物ノ増産ヲ圖ラムトスル者ハ、是ガ爲ニ必要トスル「鑛業權」ノ讓渡、又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ

増減ニ付當該鑛業權者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ協議ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、而シテ其ノ協議ノ結果、此ノ會社ノ申出ガ聽カレナカタラバソレヲ商工大臣ノ決定等ニ依ッテ強制的ニ解決ヲ爲シ、値段ガ折合ハヌ場合ニ於テハ値段ノ點ダケヲ裁判所ニ繫屬セシメルト云フヤウナ建前ヲ執リマス、ソレデ開發サセルヨリ外仕方ガナイノデハナカラウカ、然ラバ斯カル事柄ハ民間會社ノ間ニ於テモヤレルノデアリマスガ、ナカ／＼色々ナ問題ガアッテ十分ニ出來ナカッタヤウデアリマス、此ノ會社ハソレヲヤル積リデアリマス

○男爵肝付兼英君 井上子爵ノ技術者ノ問題ニ付テ只今御質問ガアリマシタガ……

○委員長(伯爵橋本實斐君) 井上子爵ハ宜シウゴザイマスカ

○子爵井上匡四郎君 宜シウゴザイマス

○男爵肝付兼英君 此ノ技術者ノ問題ニ付テチヨット關聯シテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマスガ、現在ノ商工省ノ技術者ノ採用方法ト云フモノハ、根本的ニ御考ヲ御直シニナラナイト、將來ノ商工省ト云フモノハ非常ニ問題ダト思フノデアリマス、現在差詰メ必要ナ相當ニ優秀ナ技術者ノ採用方法ト云フモノハ又別箇ニ御考ヘニナルドラウト思

ヒマスガ、併シナガラ矢張り商工省ノ技術者トシテ、初メカラ御採用ニナッテ仕立テテ行カウト云フ技術者ノ採用方法ニ付テハ餘程御研究ヲ願ッテ見タイト思フノデアリマス、現ニ商工省ニ採用サレテ居リマス技術者ハ大學ヲ出タ方々デ、工業試験場ニ入りマシテ大概ノ方ハ判任官ヲ十年モ務メナケレバ一技師ノ席ヲスラ得ラレナイト云フ實例ハ澤山アル、工業試験場バカリデアリマセヌ、商工省ノ本省ニ於テモサウデアリマス、例ヲ舉ゲルノモドウカト思ヒマスガ、現ニ此處ニ某技師ガ御出ニナリマシタガ、其ノ某技師デモ任官ニナル迄ハ相當ナ年月ヲ我慢サレテ、漸ク任官サレテ居リマス、現ニサウ云フ方ガ居ラレマス、サウ云フヤウナ現狀デゴザイマスシ、旁、採用當時ニ同ジ大學ヲ出テ居ッテモ、法學士ノ方ハ四級俸ヲ最初ニ與ヘル、技術者ノ方ハ五級俸デナケレバ採ラヌ、ソレガチヨット學校ガ下ガルト六級俸デナケレバ採ラヌ、採用ノ時ニ既ニ俸給ニ差ヲ附ケテ御採用ニナル、是ガ任官スルトスレバ、法學士ノ方デスト、私ガ商工省ニ御厄介ニナッテ居ッタ當時デスガ、法學士ノ方ハ二年間位デ直チニ任官スルガ、技術者ノ方ハ早くテモ四年間、遅イ者デアレバ十年間モ經タナケレバ任官出來

ナイ、是ハ組織ノ上ニモ勿論缺陷ガアッテ、必ズシモ無理ニサウナルモノトハ無論考ヘマセヌガ、サウシテ御採用ニナッテモ、今度任官シタ時、片方ハ又俸給ガ技術者ヨリ高級ヲ食ムト云フコトニナリマス、甚ダシイ例ニナリマス、事務官、所謂法學士ノ方々ノ氣持ガ其ノ點ニ於テ非常ニ傲慢ニナリマシテ、技術者ニ向ッテ、オ前ハ何ダ、俺ヨリ先ニ入ッテ居リナガラ、其ノ内ニハ俺ノ方ガ直グ任官シテ、事務官ニナッテシマフノダト云フコトヲ技術者ノ前デ高言サレル人ガアル、是ハ私ガ其ノ立場ニ立ッタノデゴザイマスガ、サウシタ實情ガアル以上ハ、ドウモ技術者ト云フモノハ商工省ハ餘リ希望シナイコトニナッテシマフ、現ニ私ノ知ッテ居ル範圍内ニ於ケル技術者ノ方々デ商工省ニ俺ハ行カヌト云フ人ガ多イ、斯ウ云フコトデハ優秀ナ技術者ハ到底採用ガ出來ナイト思フ、從ッテ已ムヲ得ズ志願スル方ノミヲ商工省デ採用スルト云フコトニナリマス、ソレデナクテモ優秀者ヲ希望シテ居ル商工省トシテハ私ハ到底手ニ入ラナクナルト思フ、斯ウ云フ點ハ餘程御考慮ヒタイト思ヒマス、嘗テ或大臣ニ私ハ其ノ事ヲ申上ゲマシタ、ソレハ由々シイ大事ダ、是カラ先産業ヲ中心トスル日本ノ國策ノ上ニ技術者ハ必

要ダカラ十分調査シヨウト思フ、ソレデ事務官ニ調査ヲ命ゼラレタ、事務官ノ報告デハ現在法規ノ上デハ一ツモサウ云フ片手落ガナイ、ドコ迄モ平等ニシテアルト云フ御報告ガアッテ、其ノ書類ダケヲ見マス、全ク平等ニ出來上ッテ居ル、ソレデ肝付ノ言フ程ノコトハナイデヤナイカ、ソレデオ終ヒニナッテシマヒマシタケレドモ、事實ハサウデナイ、法規ノ上デハサウナッテ居ッテモ、實際ノ上デハ技術者ト云フモノハ不遇ノ地位ニ置カレテ居ルト云フコトガ私ハ將來餘程問題ニナルト思フ、矢張り優秀ナ技術者ヲ御採用ニナラウト思ヘバ相當ナ資格ヲ與ヘ、相當ナ優遇方法ヲ御講ジニナルノデナイト私ハナカ／＼目的ハ達シ得ナイノデヤナйкаト思フノデアリマス、相當永年任官シテ務メテ居ッテモ重要ナ地位ニハ就ケナイデ、矢張り一技術者トシテ隅ノ方ニ置イテ置カレル、事務官系統ノ者ハ數年ナラズシテ自分ヲ追越シテ、サウシテ課長ノ席ニ就キ、局長ノ席ニ就ク、サウシテ堂々タル自動車ヲ與ヘラレテ乗り廻サレテ居ルノニ、技術者系統ノ者ハ漸ク何十年間デ得タ勅任官ノ席ト云フモノハ大キナ部屋ノ隅ノ僅カナ青疊デ欠伸ヲシテ居ルト云フヤウナ御氣ノ毒ナ人ガ多イト思フ、是デハ將來ノ産業日本

ヲ背負ッテ立ツ技術者トシテハ誠ニ如何カト考ヘルノデアリマスガ、ドウゾ一ツ斯ウ云フ點モ唯一時的又感情的デナク其ノ地位ノ向上ヲ御考慮ヒ、立派ナ技術者ヲ御養成戴クコトガドウシテモ今後必要デヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ好イ機會デゴザイマスカラ、一ツ鑛山局長ノ御意思ノ在ル所ヲ承ッテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 他ノ一般鑛業ニ付キマシテハ此ノ委員會ニ工務局長ガ出ラレルト思ヒマスカラ、其ノ方カラ御答ヘ致シマシテ、鑛山關係ノ方ニ付キマシテ私カラ率直ニ御答ヘ申上ゲマス、從來ハ肝付男爵ノ仰セニナッタヤウナ傾向ガナイトハ私モ申上ゲラレナイト存ジマス、併シナガラ最近鑛山關係ノ技術者ノ採用方法ニ付キマシテハ十分考慮ヲ加ヘテ居リマス、殊ニ專門學校出身者ニ付キマシテモ、恐ラク鑛山行政ノ始メ以來ノ記錄ヲ調べタ譯デハアリマセヌガ、私ハ破格ノ取計ヲヒラシツ、アルト思ヒマス、ソレハ假ニ技術者ガ必要ダカラ之ニ阿ネルト云フノデハ毛頭ナク、私ハ國ノ制度ガ間違ッテ居ルト思フノデアリマス、ソレハ二千八百八十圓ノ技師ヲ頼ムト云フコト自體ガ非常ニ無理デアル、如何ナル優秀ナル人ガ來ラレマシテモ平均俸

給確カ二千八百八十圓ト云フコトデアルト思ヒマスガ、サウ云フコトデ以テ良イ技術者ヲ得ヨウト云フコトガ間違デアッテ、屬僚タル私共ガ責メラレテモ此ノ問題ハ解決シナイト思ヒマス、併シナガラ屬僚タル私共ガ出來ル範圍ニ於キマシテハ、相當從來ニ見ナイ處置ヲ執リツ、アルコトヲ此處デ御答ヘ申上ゲマス、尙初任給俸ナドニ付キマシテモ只今仰セニナリマシタヤウナコトハ鑛山關係ニ於テハ全然ゴザイマセヌ、破格ノ昇給等ヲサセテ優遇スベキモノハ優遇シ、然ラザル所ノ、優遇スル必要ナシト思ハレ

ルモノハサウ優遇スル必要モナイノデゴザイマスガ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、餘程矯正サレテ居ルト御答ヘ申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、尙鑛山關係ノ技術者ノ數モ昭和十三年度以降特ニ殖エマシタノデ、相當優秀ナ技術者ガ今日迄鑛山關係ニ於テ殘ッテ居ル次第デアリマス、其ノ方々ガ立派ニ後輩ヲ指導セラレツ、アリマス、唯之ヲ以テ足レリト私ハ申上ゲルノデアリマセヌガ、聊カ改善ヲ加ヘツ、アルト云フコトダケ御答シテ、尙大河内先生、井上先生等カラノ御言葉モアリマスノデ、是等ハ勿論私共トシテハ十分肚ニ置イテ今後ニ善處スベキ問題デアルト考ヘテ居リマス

○男爵肝付兼英君 鑛山局長ノ非常ニ誠意アル御答辯ヲ得マシテ私満足ヲ致シマシタ、ドウゾ一ツ今後トモ十分技術者ノ爲ニハソレレノ實力ニ應ジマシテ、適當ニ御考慮ヒタイト思ッテ居ルノデアリマス、此ノ際チヨット私不斷カラ感じテ居リマシタコトヲ申上ゲマシテ、御意見ヲ伺ッテ次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

○男爵松田正之君 此ノ法案ノ政府出資ニ對スル利益配當ノ免除デゴザイマスガ、年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ配當ヲ免除サレマスガ、產金會社トカ、外ノ方ハ大抵年百分ノ四デゴザイマスケレドモ、此ノ差ガアルノハドウ云フ關係デゴザイマスカ
○政府委員(小金義昭君) 日本產金振興株式會社ト云フヤウナ類似立法ニ於キマシテハ、今御指摘ニナリマシタ所ハ年百分ノ四ノ割合迄ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ立法ノ當時日本產金振興株式會社ニ於キマシテハ、大體產金業者ニ出資シテ貰フ、其ノ爲ニ成ルベク「コスト」ノ安イ金ヲ貸出シ得ルヤウニスル爲ニ、政府ニ配當援助ノ限度ガ四分、ソレカラ配當保證ガ四分ト云フコトニナッテ居ッタノデアリマス、此ノ帝國鑛業開發株式會社ニ於キマシテハ製鍊業者、鑛山業者カラノ出資モ勿論期待シテ之

ヲ豫定致シテ居リマスガ、尙外ニモ出資ヲ求メル積リノ部分ガゴザイマス、ソコデ折衷說、甚ダ理論トシテハ徹底致サナイノデアリマスルガ、折衷說ミタイナモノヲ採リマシテ、政府ノ配當保證ガ四分、併シナガラ政府ノ後配株トシテノ取扱ハ六分迄ニスル、即チ民間ニ對スル配當ノ割合ガ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シテハ利益ヲ配當シナクテモ宜シイト云フ、此處ニ二分ダケノ差ヲ付ケタノデアリマス、是ハ理論的ニハハッキリ申上ゲ兼ねルノデアリマスガ、大體サウ云ッタヤウナ折衷說デ、他ノ斯ウ云ッタヤウナ國策會社ハ四分ナラ四分デ押通シ、六分ナラ六分デ押通シテアルト思ヒマスガ、是ハ其ノ中間ヲ採ッタヤウナモノデゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 如何デゴザイマセウ、午前中ハ此ノ程度デ休ミマシテ、午後ハ二時半頃カラ再開致シタイト思ヒマス、ソレデハ是デ休憩致シマス
午後零時七分休憩
午後三時一分開會
○委員長(伯爵橋本實斐君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス
○子爵保科正昭君 私ハ、此ノ會社ノ目的ニ付キマシテ聊カ伺ヒタイコトガアルノデ

ゴザイマスガ、元來特殊會社ト致シマシテ
ノ本會社ノ能率權能、其ノ目的ニ付キマシ
テハ、此ノ會期切迫ノ折柄デアリマスカラ、
一昨日松田男爵カラ御質問ト稍、重複スル
所モアリ、男爵ノ御質問ニ依リマシテ私ハ
大意ヲ了承スルコトガ出來タノデゴザイマ
スカラ、之ニ付テハ伺ヒマセヌノデゴザイ
マス、唯此ノ第三章、營業ノ部門ヲ此處ニ舉
ゲテゴザイマス、此ノ營業ノ部門ガ本會社
ノ一番中樞ナ目的トスルモノデアリマシ
テ、此ノ營業ニ於テ最モ效果ヲ舉ゲテ行
ケバ、此ノ會社ノ全般ノ目的ヲ達成スル
上カラ過半ノ目的ガ遂ゲラレルコトと思
ヒマスノデ、此ノ章ニ付キマシテ聊カ伺
ヒタイコトガアルノデゴザイマス、第一此
處ニ舉ゲテアリマス「重要礦物ヲ目的トス
ル營業」ト書イテゴザイマスガ、私ハ此ノ
會社ガ經營サレマシタ以上ハ、礦物ノ種類
ト云フモノハ彼此限定スベキモノデナク、
營業ノ範圍ニ於テ自由ニ伸縮出來ルモノト
云フヤウニ解釋サレルノデアリマス、其處
デ此ノ營業法ニ規定シテアル礦物總テニ關
シテ、是ガ應用經營スルコトガ出來ルモノト
考ヘマスナラバ隨分範圍モ廣イト思フノデ
ゴザイマス、併シ兎ニ角此ノ章、詰リ此ノ
科目ヲ運行シテ此ノ會社ガ能率ヲ舉グルコ

ト即チ利益ノアルコト、モウ一ツ言換ヘレ
バ社會ノ目的ニ副フコトガ出來ルト云フコ
トニナレバ、先日政務次官カラ御説明ガア
リマシタヤウニ、休眠礦區ヲ開發スルト云
フコトガ言ハレタノデゴザイマス、併シ是
ハ誠ニ此ノ目的ノ爲ニハ、此ノ會社トシテ
ハ全力ヲ拂ハナケレバナナイノデアリマ
セウト存ジマスガ、我ガ國內ノ休眠礦區ト
云フモノヲ開發スルト云フコトハ非常ニ手
ノ掛カルコトダシ、又利益ノ舉ガルモノデ
ヤナイ、此ノ點ニ付キマシテウツカリ休眠
礦區ニ手ヲ著ケテ之ヲ開發シヨウト努力シ
タナラバ、此ノ會社ハ損ヲシテシマフコト
ハ明瞭ダト思フ、其ノ條項ニハ、參考書デ御
覽ニナルヤウニ、礦區ト云フモノト、試掘
シテ居ルモノト、現在稼行シテ居ルモノト
ノ比率ヲ御覽ニナレバ直グ分ル、一目瞭然
デアリマスガ、礦區ハ非常ニ皆持ッテ居リ
マス、而シテ其ノ中ノ極メテ少數ノ礦區ガ
試掘サレルノデアリマス、其ノ中ノ又更ニ
少數ノ一割内外ノモノガ稼行サレテ居ル有
様デアリマスカラ、此ノ休眠礦區ト云フヤ
ウナモノ乃至ハ試掘シテ棄テアル山ヲ手
ヲ著ケテヤレバ此ノ會社ハ損ヲスルコトガ
明カノヤウニ私ハ考ヘル、又ソレガ礦物ヲ
產出スル迄ニ非常ニ手數ガ掛ッテ、幾ラ金ヲ

入レテモ足ラナイト云フコトニナル、ソコ
デ其ノ點ノコトハ是ハドウ云フ御考カ、ド
ウ云フ範圍ニ於テサレルカト云フコトヲ一
ツ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ソレデ
其ノコトニ付テ御返答ガアリマシタラバ、
今度第二ノ重要礦物ニ關スル礦床調査ノ問
題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(小金義昭君) 御説ノ通り此ノ
帝國礦業開發株式會社法及ビ其ノ會社ノ運
用ト申シマスガ、サウ云フ使命ハ此ノ法案
第三章ノ中ニ規定セラレテ居リマシテ、此
ノ運用如何ニ懸ルモノト存ジマス、ソコデ
別段甲乙輕重ヲ特ニ付ケルト云フ意味デモ
ゴザイマセヌガ、第十一條第一項ノ第一號
ニ先ヅ「重要礦物ヲ目的トスル營業」ト云フ
風ニ、此ノ會社ノ事業ノ中心主體ヲ成ス事業
項目ヲ掲ゲタ次第デアリマス、此ノ内容ハ、
先ヅ第一ガ掘鑿事業デアリマス、是ハ大體
五箇年間位ニ相當ナ數、即チ三十トカ、或
ハ四十トカ云フヤウナ礦山ノ經營ヲナスコ
トヲ大體豫定トシテ考ヘテ居リマス、休眠
礦區ガ多イノニ拘ラズ斯ウ云フ事業ヲヤレ
バ損ガ行クノデハナイカ、少クトモ儲ケハ
少イダラウト云フコトハ私共モ考ヘテ居リ
マス、ソコデ全般ニ互ル問題デアリマスガ、
第二十四條ノ規定ノヤウナモノヲ設ケテ、

損失ヲ國家ガ補償シテヤルト云フ建前ヲ
採ッテ居リマス、此ノ「重要礦物ヲ目的トスル
營業」ノ第二點ハ、選鑿事業デアリマス、是
モ大體五箇年間ニ數箇所ニ選鑿場ヲ設置致
シマシテ、其處デ選鑿ヲシテ、其ノ選鑿セ
ラレタ礦物ヲ製鍊業者ニ賣渡スト云フコト
ニ考ヘテ居リマス、第三ハ所謂休眠礦區ノ
開發事業デアリマス、銅、鉛、亞鉛ト云フ
ヤウナ物ヲ主トシテ、其ノ他重要ナル礦物ニ
シテ我ガ國ニ於テ非常ニ不足シテ居ルヤウ
ナモノヲ目的トシテ休眠礦區ノ開發ヲナス
モノデアリマス、是ガ如何ナル理由ニ依ッテ
礦區ガ開發セラレズニ、現ニ所謂休眠礦區
トナッテ居ルカト云フコトモ檢討シナケレ
バナリマセヌ、午前中ニ申上ゲマシタヤウ
ニ、極メテ多數ノ所謂休眠礦區ナルモノガ
ゴザイマス、之ヲ順次秩序ヲ立テテ此ノ會
社ガ開發ヲナス、又同時ニ其ノ鑿業權者ヲ
適當ニ刺戟シテ、或ハ援助ヲ致シマシテ、
或ハ協力致シマシテ所謂休眠礦區ノ開發事
業ヲ促進サセル、斯ウ云フ大體内容デゴザ
イマス
○子爵保科正昭君 其ノ次ノ質問ニ移リマ
スガ、重要礦物ニ關スル礦床調査ノコトデ
ゴザイマスガ、是ハ此ノ前ノ時ニ參考資料
ヲ御願ヒシテ、此處ニ頂戴シタノヲ拜見ス

ルト、民間ニモ試錐ヲ業トスルモノガ居リマス、相當ノ數ガ是迄ゴザイマシテ、ソレ等ノ者ノ業務ト云フモノモ相當頻繁ニアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ハ此ノ鑛床ノ調査ト云フコトノ一番ノ本體ヲナシテ居ルモノハ、廣ク其ノ區域ニ於ケル地質ノ調査デアラウト思フ、地質ノ調査ガ十分完全ニ行キ渡リ、サウシテ其ノ地質ノ構造ト云フモノガ明瞭ニナッテ居レバ、之ヲ基礎トシテ初メテ鑛床調査ト云フコトガ成立ツノデモアルシ、又的確ニ鑛床調査ガ出來ルモノト心得テ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ現在地質調査ト云フモノハ何處デ始ッテ居ルカト云ヘバ、是ハ商工省ノ地質調査所ガ日本ニ於テ一番初メニ之ヲ著手シテ國內ハ勿論、臺灣總督府ニ於テモ同ジヤウナ方法ニ依リマシテ、臺灣總督府モヤリ、又朝鮮總督府モ亦朝鮮ノ半島ニ於テヤルト云フコトニナッテ居リマシテ、其ノ本ヲ成シタルモノハ地質調査デアラウト思フ、サウシテ地質調査ハ十分ノ確實ナ地質調査ノ結果ヲ擧ゲテ居レバ、鑛床ヲ調査スルト云ツテモ是ハ樂ニ出來ルコトニナリ、デアリマスルカラ、此ノ地質調査事業ト云フコトニ力ヲ一番注イデ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ致シマシテ又此

ノ官制ニ依ッテ地質調査所ニ委託調査ト云フ制度ガ出來テ居ルト云フコトデアリマス、是ハ參考書ノ頂戴シタノニ依ッテ明瞭シタ譯デアリマスガ、サウ致シマス此ノ政府ニ於テ調査シタト云フモノガ、凡ソ此ノ鑛床調査ノ委託ヲシタ結果ト云フモノノ最モ確實ナル、最モ尊重スベキ、又最モ權威アルモノデアルト思フ、故ニ休眠鑛區ヲ持ツ者、又ハ其ノ營業ノ不振ノ鑛區ヲ持ッテ居ル者ト云フモノ、乃至ハ又廢鑛ト云フモノハ何レモ其ノ價值ヲ律スルニハ先ヅ一番其ノ上ノ上ト云フモノハ地質調査所ニ依頼シテ調査ヲシテ貰フノガ一番、之ニ依ッテ鑛床ヲ明瞭ニスルコトガ最上ノ目的デアッテ、其ノ外民間ニ從事シテ居ル者ニ頼シテ之ヲスルト云フコトハドウ云フコトカト言ヘバ其ノ地質調査所ノ政府ニ頼シタルコトノ出來ナイ人、乃至ハソレ程金ヲ出スノガ困ルト云フ人ト云フモノガ、サウ云フ者ニ頼ムノデアッテ、是ハ二流ノ調査ト云フノデ信用上カラ言ッテモ政府ノ調査ニ劣ルモノガアルト思フノデス、ソレカラモウ一ツニハ此ノ民間デ調査ヲスルモノト云ツテモ單ニ鑛床調査バカリヲ拔出シテ調査スルコトガ出來ナイノデ地質ト聯關シテ居リマスカラ、地質調査ヲ土臺トシテ判斷シテ居ルノデアリ

マスカラ、是ハ政府ニ依ラナケレバ是ダケハ出來ルモノト私ハ思ハナイ、ソレデゴザイマスカラ、斯ウ云フ業ヲ爲スノニハ第一政府ノ仕事トシテヤラセル、行ハセルノガ私ハ宜イト思ッテ居リマシテ、之ヲ此ノ會社アタリデ自分ノ鑛區ヲ澤山買ヒ、又ハ委託ヲ受ケテ買フカラ其ノ鑛區ヲ調査スル技術家ガ多ク居ルカラ、副業トシテ之ヲヤラウト云フヤウナコトヲシテ、此ノ會社ガ依頼ニ依ッテ之ヲスルト云フコトハ第二ニ申上ゲタ副業トシテヤルヤウナコトデハ十分ノ信用ノ點ニ於テ稍、遜色ガアッテ、此ノ會社ヲ私ハ侮辱シテ言フノデハナイガ、稍、遜色ガアルノデアリマスカラ、是等ノ項目ナドト云フモノハ矢張り國策ト云フカ、此ノ國策會社ト云フヨリモ一歩進ンデ政府ノ方、政府ノ殆ド事實ト云ヒマセウカ、標準トスル所ノ一ツノ仕事ニ多ク止メルコトガ私ハ宜イト思フ、ソレカラ又此ノ「ボーリング」ノコトデアリマスガ、「ボーリング」ノ民間ニ於ケル事業モ澤山アリマセウ、併シナガラ此ノ「ボーリング」モ矢張り今地質調査ト同ジヤウナ點、一歩進ンデ鑛床調査デゴザイマスカラシテ、此處デ以テ此ノ會社デ「ボーリング」ヲ致スト云フコトヲ、試錐ヲスルト云フコトハ先達テ

御説明ノ中ニモアリマシタケレドモ、此處デウツカリ試錐ヲセヨト云ツテモナカク、是ハムヅカシイコトデアツテ、既ニ民間ノ業者ガ長イ間失敗ニ失敗ヲ重ネテ、漸ク其ノ缺陷ノ所ガ分ッテ居ルヤウナモノデゴザイマスカラ、此處ニソレヲ取上ゲテヤルノデアルカ、又別ニ始メルカ、別ニ始メルト云フコトニナルト容易ニ出來ルモノデナイ、併シ民間ノ會社ヲ買上ゲテ此處デ以テ此ノ會社ガスルト云フコトニナレバ是ハ稍、出來ルコトデアラウト思フ、ソレデ今度電氣探鑛ノコトデスガ、電氣探鑛ニ對シテノ議論ハ世ノ中ニ澤山アリマスガ、今日マダ十分ノ程度迄的確性ヲ認メテ居ルモノデハ私ハナイト思ッテ居ル、今研究時代ニ屬スルモノデアリマセウカラ、是ハ是カラ此ノ會社ガ研究ヲ始メルノデ、外ト竝行シテ電氣探鑛、詰リ物理探鑛、電氣探鑛ト申シマシタガ、之ヲ包括シテ物理探鑛ノ事業ト云フモノハ、是カラ始ルコトデアリマセウカラ、此ノ會社ニ仕事ヲシテ貰フ、是ハ全ク差支ナイト思ッテ私ハ贊意ヲ表スルコトデアリマスガ、既ニ相當發達シテ居ルモノヲ止メテ、止メテデハナイガ、此ノ會社デ又新タニ始メルト云フコトニナルト大イニ非常ナ面倒デアリ、結果ヲ收メルコトガ難イノデ

アリマスカラ、今日アルモノヲ適當ニ其ノ部分ヲ使フト云フコトニ付テ重キヲナシテオ置キニナツタ方宜イカト思ヒマスガ、是ガ私トシテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 御説ノ通りニ總テ鑛山業ニ付キマシテハ、御説ノ通りニ地質鑛床ノ基本的調査ガ先決問題ト思ヒマス、ソコデ政府ノ方ニ於キマシテハ、此ノ地質鑛床ノ調査、整備、擴充ヲ計畫致シマシテ、昭和十三年度ニ於テ相當ノ經費ヲ戴イテ居リマス、更ニ昭和十四年度ニ於テモ之ヲ擴充致シマシタガ、更ニ追加豫算トシテ昭和十四年度ニ又何ガシカノ其ノ方面ノ經費ガ計上サレテ居リマス、ソコデ先ヅ全國的ニ日本ノ地質構造ヲ調査致シマシテ、之ヲ基本トシテ其ノ山ノ開發ニ利用スルト云フ建前ヲ執ッテ居リマス、其ノ地質調査ト云フヤウナ基本的ノ事業ハ、是ハ政府ノ直營ノ事業トシテヤッテ居リマスガ、御説ノ中ニモアリマシタヤウニ、地質調査所ニ於ケル問題トシテハ民間カラノ委託ヲ受ケテ地質ヲ調査スル、所謂受託調査ノ制度モアリマシテ、サウ云フヤウナ兩方面カラ成ルベク精細ニ日本ノ國土ノ地質の構造ヲ調査致シテ居ル次第デアリマス、此ノ會社デ重要鑛物ニ關スル鑛床ノ調査ト云フヤ

ウナ事業項目ヲ掲ゲテ居リマスノハ、大體ニ於キマシテ是等ノ國家ノ行ツタ基本的調査ヲ基礎ニ致シマシテ自ラ經營スル場合ト、他人ニ依頼セラレタ場合トヲ問ハズ、之ヲ開發スル具體的ノ調査ヲスル、ソレガ目的デゴザイマス、役所ニ依頼出來ナイヤウナモノデモ、會社ニ持テ込ム場合ニ於キマシテハ或ハ共同鑛床検査ト云フ形デ、鑛床ノ調査モシテ貰ヘマスルシ、更ニ色々此ノ會社トノ間ノ契約條件ト云フヤウナモノヲ付ケテ、具體的ノ企業ノ基礎トナル鑛床ノ調査ガシテ貰ヘル、斯ウ云フ建前ヲ執ッテ居リマス、更ニ政府デ然ラバ其ノ程度ノ調査モシタラバ宜イノデハナイカト云フ御説モ成立ツト思ヒマス、併シナガラ不利ナ試験モ十分御承知ノ通りニ、極メテ今日迄基本的ノ地質調査ガ不十分デゴザイマシタガ、政府ハ其ノ方面ニ主力ヲ注ギマシテ、更ニ一歩進ンダ所ノ會社經營ノ具體的基礎トナルベキ調査トカ、鑛山開發ノ具體的基礎ニナルベキ鑛床ノ調査トカ云フヤウナモノハ、民間ノ會社ト、又ハ斯ウ云フ半官半民ノ公共的ノ會社ニ、同時ニ行ッテ貰ハザルヲ得ナイヤウナ状態ニナツテ居ルノデゴザイマス、是等ニ付キマシテモ必要ガ生ジマシタ場合ニ於テハ、

第二十四條ノ規定ニ依ッテ政府ガ補償シ得ル建前ヲ執ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此ノ重要鑛物ニ關スル鑛床ノ調査ノ中ニ、試験即チ「ボーリング」ト電氣探鑛等ヲ含メタ、所謂物理探鑛ト云フヤウナモノヲヤルコトニナツテ居リマス、其ノ中「ボーリング」即チ試験ニ付キマシテハ、今日既ニ民間ノ試験業者モ相當アリマス、其ノ方ニ能率ヲ擧ゲサシタラドウカト云フ御説デアリマスガ、誠ニ御尤デアリマシテ、其ノ方ノ能率ヲ十分擧ゲテ行クヤウニ致シタイト思ヒマス、唯此ノ會社ハ試験トカ云フヤウナモノヲ敢テ排除シナイ、此ノ會社ノ建前ニ於テモ「ボーリング」ヲ自ラシ、又委託ヲ受ケテヤリ得ルト云フ立場ヲ執ッテ居ルノデアリマス、御説ノ通り今日アル色々「ボーリング」ニ關スル施設ハ、十分之ヲ動員シテ鑛山開發ニ資シタイト考ヘテ居リマス、尙電氣探鑛ニ付キマシテハ、一切ノ物理探鑛ト云フヤウナモノモ含メマシテ、相當此ノ會社ガ積極的ニヤル考デ計畫ヲ致シテ居リマス、只今ノ所民間ノ「ボーリング」ヲヤル會社及ビ其ノ施設ヲ此ノ會社ガ買取ツテヤルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌガ、只今申上ゲマシタヤウニ、其ノ方面ノ能率ヲ發揮セシムルヤ

ウニ致シタイト存ジマス

○子爵保科正昭君 私ハ其ノ次ニ質問ヲ進メタイト思ヒマスガ、竝ニ第三ニ擧ゲテアリマス「重要鑛物ヲ目的トスル鑛業ニ對スル技術ニ關スル指導」ト云フコトガゴザイマスガ、此ノ問題ハ暫ク措キマシテ、其ノ次ノ、重要鑛物ノ賣買其ノ他ノ斡旋ヲスルト云フコトデアリマスガ、成ル程は一昨日松田男爵カラ御質問ガアリマシタ時ニ御答ニナリマシタヤウニ、鑛物ヲ廉ク輸入シテ高ク賣ルトカ、或ハドウトカ云フコトモオヤリニナルサウデアリマスガ、此ノ點ニ於キマシテハ、成ル程此ノ會社ハ相當利益ガアルモノト考ヘテ居リマス、ソレデ當内地ノ方ノ鑛物デゴザイマスガ、是モ賣買スルト云フコトモ隨分或場合ニハ適當ナコトモゴザイマスガ、多クハ此ノ鑛物ノ品位ト云フモノヲ決定スルト云フコトニ於テ隨分缺點ガアルヤウニ思フ、今日我々ノ東京デモ何處デモ同ジデゴザイマスガ、鑛物ノ品位判定分析ト云フヤウナモノニ付テハ、隨分殆ど今日營利會社ノ大會社ニ託シテ是ガ的確ニ行クト云フコトガナイトハ申上ゲナイガ、先ヅ少イ、ソレハ何故カト云ヘバ、同ジ又標本ノ取方モ選ビ方モソコニハ問題ガアルデゴザイマセウガ、會社ニ依ッテ非常

ニ其ノ賣礦スル時ノ品位ト云フモノガ違フ又違フノヲ承知デ賣リ、承知デ買フト云フ弊ガアルト思フ、ソコデ此ノ會社ハ、此ノ賣買ト云フコトニ聯關スル一番ノ必要ナモノハ、礦物ノ種類分析、品位ノ決定デアリマスガ、之ニ對スルソレコソ、此ノ會社ガ營ム所ノ一ツノ公平ニシテ明確適切ナル機關ヲ設置サレルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、其ノ點ハ如何デゴザイマスガ、且迅速ト云フコトモ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 此ノ第十一條第一項第四號ノ重要礦物ノ賣買又ハ其ノ斡旋ノ中ニハ、只今仰セニナリマシヤウナコトヲ含メテ居リマス、御説ノ通り賣礦ニ際シマシテハ、色々ナ「トラブル」ガ起リ勝チデアリマス、ソレハ礦石ヲ賣ルヤウナ方ハ、必ズ自分ノ礦石ガ非常ニ良イト云フ自負心ヲ持ッテ居ラレルノガ普通デアリマス、處ガ之ヲ分析致シマシタ結果ハ、必ズシモ其ノ豫想ニ副ウテ居ナイ場合ガ相當アルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ此ノ帝國礦業開發株式會社ハ出來ルナラバ、其ノ方面ニモ進出致シマシテ、重要礦物ノ賣買若シクハ其ノ斡旋ヲ迅速且公平ナラシメタイト考ヘテ居リマス、即チ此ノ會社ニ於テハ、礦石ノ取引條件ノ適正化ヲ圖ルベク活動ス

ルト云フ考デアリマス、即チ御説ノ中ニアリマシタヤウニ「サムプリング」ヲ採リ方ガ非常ニムツカシイノデアリマス、「サムプリング」ヲ採リ方ガムツカシイ爲ニ、色々問題ガ起ル場合ガアリマス、今日迄ノ處、賣礦シテ居ル製鍊所ニ付テ其ノ分析ノ結果ヲコチラデ調べマシタ處、不正ハ先ヅ見當ラナカッタノデアリマス、要ハ其ノ資料ノ採リ方ニアルト思ヒマス、ソコデ出來得ベクシバ、此ノ會社ハ資料採取場及ビ分析設備ヲ買取りマスカ

或ハ借受ケマシテ、此ノ會社ガ「サムプリング」及ビ分析ヲ直營致シタイト考ヘテ居リマス、大體現在ノ所、大キナ製鍊業者ハソレニ御異議ガ無イヤウデ、寧ロ其ノ賣礦ニ際シテノ煩瑣ナル問題ヲ避ケタイ、サウシテ賣礦ニ依ッテ不當ナル利益ヲ取ルトカ、手數料ヲ取ルト云フヤウナコトカラ逃レタイト云フヤウナ御意見モ積極的ニ出テ居リマス、今日迄ノ處、大體自ラ資料採取場トカ、分析場ヲ新タニ設ケルコトハ相當月日モ要シマスノデ既存ノモノヲ買受ケテ、此ノ會社ガ直營デヤッテ、迅速且適正ニ賣礦條件ヲ決定シテ、以テ中小ノ鑛山ノ開發ニ資シタイト云フ計畫及ビ考デゴザイマス

○子爵保科正昭君 モウ一言私ハ伺ハシテ戴キタイノデアリマスガ、此ノ會社ハ勿論

石炭、石油迄モ事業ノ中ニ包括サレルコトデアラウト思ヒマスガ、此ノ重要礦物ト云フ中ニハ、彼等モ含ミ得ルト云フ解釋ヲ取ツテモ差支ナイト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスガ

○政府委員(小金義照君) 重要礦物ノ中ニハ勿論石油及ビ石炭モ入ッテ居ルモノト諒解致シマス、併シナガラ重要礦物増産法ノ第一條ヲ見マスルト、一應石油ハ除外サレテ居リマス、石油ニ付キマシテハ、石油資源開發法ガ同時ニ第七十三回帝國議會ノ御協賛ヲ經テ、石油ト云フ特殊ノ立場カラ其ノ開發促進ヲスルト云フ建前ニナッテ居リマス、尙此ノ帝國礦業開發株式會社ノ計畫ノ内容ト致シマシテハ、一應今ノ所石油ヲ考ヘテ居リマセヌ、石油ニ付キマシテハ、石油獨得ノ地質學的構造及ビ其ノ他ノ採掘ノ條件ガアリマスルノデ、石油ニ付テハ同じ商工省デモ、主トシテ燃料局ガ中心ニナッテ、其ノ開發促進ニ關スル方策ヲ樹立シテ實行致シタイト云フ建前デ來テ居リマス

○子爵保科正昭君 モウ一ツ伺ヒタイデスガ、礦物ノ鑑定ト云フコトヲ此ノ中ニ一ツ御入レニナッタラ如何カト思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト申シマス、「アルミニウム」ノ鑛石ナント云フモノハ、近々數年前ニハ誠

ニ鑛石トシテ價值アルモノハ少カッタノガ、年ト共ニ製鍊ノ進歩ト言ヒマスガ、或ハ科學ノ進歩ニ依リマシテ鑛物ノ種類ガ非常ニ増シテ來ルト云フ傾向等モアリマスカラ、是ガドウ云フ鑛物カト云フコトヲ鑑定、檢閱スルコトノ仕事モ之ニ御合メニナルコトトハ思ヒマスガ、一應……

○政府委員(小金義照君) 鑛物ノ鑑定モ誠ニ重要デアリマシテ、重要礦物ノ販賣又ハ其ノ斡旋ト云フ項目ノ中ニハ自ラ或程度ノ鑑定ガ含マレルコトト存ジマス、併シナガラ特ニ依頼ヲ受ケテ鑑定ヲスルト云フ事業ヲ大キク考ヘマス際ニ於テハ法律案第十一條第二項「本會社ノ目的達成上必要ナル諸事業」ノ中ニ入レテ考ヘタイト存ジマス

○子爵保科正昭君 私ハ之デ質問ヲ終リマス

○大西虎之介君 此ノ第十一條ニ帝國礦業開發株式會社ノ營業目的ガ第一號ヨリ第六號迄舉ゲラレテ居リマシテ、其ノ何レモ極メテ適切デアルトハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ中デモ資金ノ使用ト云フ點カラ見マシタナラバ、第一號ノ會社自ラガ「重要鑛物」目的トスル鑛業「ヲ營ムト云フコトト、第六號ニ於テノ「重要鑛物」目的トスル鑛業又ハ製鍊業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資」

之ニ大部分其ノ資金ガ投ゼラル、デハナイカ
ト思ヒマスガ、ソレガ大體ドノ程度ニ、ド
チラニ使ハレルト云フ標準デモ若シ御分リ
ニナッテ居レバ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 一應ノ計畫ヲ樹
テテ居リマスガ、御説ノ通り資金ノ大部分
ハ第十一條第一項ノ第一號ノ事業、ソレカ
ラ同第六號ノ事業ニ注ギ込ム、斯ウ云フ豫
定ニナッテ居リマス、唯其ノ割合等ハ一應ノ
目ノ子勘定デアリマシテ、正確ニ申上ゲル
コトハ如何カト存ジマスガ、マア大體御説
ノ通り、第十一條第一項第一號及ビ第六號
等ガ主ナルモノデアルト御承知ヲ願ヒタイ
ノデアリマス、唯金額カラ申上ゲマス第四
號ノ「重要礦物賣買又ハ其ノ斡旋」ト云フモ
ノハ相當ナ資金ヲ用意シテ置カナケレバ、
圓滑ニ礦物ノ受渡シ其ノ他ノ配給ガ出來ナ
イ虞ガアリマスルノデ、其ノ點ハ考慮致シ
テ居リマス

○大西虎之介君 只今ノハ了承致シマシタ
ガ、モウ一點伺ッテ見タイと思ヒマス、矢張
リ十一條デ何レノ項目モ重要礦物ト云フコ
トヲ限定シテ居リマス關係上、重要礦物ト認
メラレテ居リマセヌ、例ヘバ「アスペスト」
ノヤウナモノハ是カラ除外サレルモノト思
ヒマスガ、此ノ法律ヲ御作ニナリマスノモ、

其ノ一半ハ勿論國內ノ資源ノ開發ト云フコ
トニアルト思ヒマスガ其ノ半面ニハ極力
外國カラ輸入サレテ居リマス其ノ輸入額ヲ
防遏シタイ、斯ウ云フコトガ半分ノ目的
トナッテ居ルト思ヒマス、サウ致シマス此
ノ「アスペスト」ノヤウナモノハ現在ノ狀況
デハ大部分「ケープタウン」附近トカ、或ハ
「カナダ」邊リカラ殆ド輸入サレテ居ルノデ
アリマシテ、最近爲替資金ノ調達ガ困難ニ
ナッタ爲ニ漸ク内地、或ハ北海道、或ハ朝鮮
邊リデ徐々ニ「アスペスト」ヲ採掘ショウト
云フ氣分ニ向イテ居ルヤウデスガ、是ハ
我が國トシマシテハ最初ノ試ミデモゴザイ
マスシ、此ノ採掘ハ相當困難デアリ、又相
當資金ヲ要スルト思フノデアリマス、斯ウ
云ツタモノコソ此ノ會社ヲシテ或ハ指導サ
ストカ、或ハ資金ノ融通ヲサセル、斯ウ云
フコトノ必要ガアルヤウニ思ヒマスガ、其
ノ點ニ付テ如何ヤウニ御考ヘデゴザイマセ
ウカ

○政府委員(小金義昭君) 御尤ナ御意見デ
アリマス、出來ルダケ輸入防遏ト云フヤウ
ナ方面ニ此ノ會社ヲ活動サセルコトハ寧ロ
會社設立ノ主ナル目標ト申シテモ宜イノデ
アリマスガ、御承知ノ通り「アスペスト」ハ
未ダ鑛業法ノ鑛物ニ入ッテ居リマセヌ、重要

鑛物増産法ニ金鑛、銀鑛以下砂鐵砂錫迄列
舉致シマシテ、「其ノ他勅令ヲ以テ指定スル
鑛物ヲ謂フ」ト云フ風ニ重要鑛物増産法ハ掲
ゲテ居リマスガ、茲ニ謂フ指定スル鑛物ヘ、
矢張り本體デアル所ノ鑛業法ノ鑛物デナケ
レバナラヌト法律上解釋サレルノデアリマ
ス、ソコデ先決問題ハ鑛業法ノ第二條ノ鑛
物ノ中ニ之ヲ列舉スルコトガ必要デゴザイ
マス、只今御説ノ石綿ニ付キマシテハ色々
ナ調査ヲ致シツ、アルノデアリマシテ、之
ヲ成ルベク鑛業法ノ鑛物ノ中ニ入レテ欲シ
イト云フ御意見ニ副ヒタイト考ヘテ居リマ
スガ、尙現在ノ採掘シテ居ル狀態トカ、此
ノ上ノ權利關係等ノ調整ヲ圖ル必要ガアリ
マスノデ、暫ク調査ヲシナケレバナラヌ狀
態ニアリマス、ソコデ然ラバ「アスペスト」
トカ、其ノ他ノ有用ナル所謂鑛物學上ノ鑛
物ヲ放ッテ置イテ宜シイカト云フ問題ニ相
成ルノデアリマスガ、ソレハ私共ト致シマ
シテハ日本興業銀行ガ相當鑛山業ニ對シテ
モ資金ノ融通等ヲ考ヘテ居ルト云フ御話デ
アリマスカラ、其ノ方ト連絡ヲ執ッテ出來ル
ダケサウ云フ方面ノ御需メニ應ジテ戴キタ
イト云フ考ヲ持ッテ居リマス、從ヒマシテ具
體ノ問題ガ起リマシタ際ニハ此ノ會社ガ
自ラ扱フコトハ如何カト思ヒマスガ、商工

省ト致シマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ
方針デ資金ノ融通ヲ考ヘテ戴キタイと思ッ
テ居リマス

○委員長(伯島橋本實斐君) 他ニ御質疑ゴ
ザイマセヌカ

○眞野文二君 我一ツ伺ヒタイノデアリマ
スガ、是等段々御質問ガ出テ居リマシタガ、
「ニッケル」ニ付テノ御質問ガナイヤウニ思
ヒマスノデチョット伺ッテ置キタイノデス
ガ、私ノ承知シテ居ル所デハ「ニッケル」ハ
本邦デハ多少出ルノデアリマセウガ極メテ
量ガ少イヤウニ承知シテ居ル、多クハ輸入
ニ俟ッテ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、是
モ矢張り軍事上ト云フカ、軍需品ニ對シテ
「ニッケル」、「ステイル」トカ、或ハ「ニッ
ケル」、「クロム」、「ステイル」ト云フ
モノハ最も必要ナモノト思ヒマスガ、若シ
輸入ガ出來ヌト云フヤウナ場合ニモ本邦ノ
「ニッケル」ダケガ間ニ合フ譯デアリマスガ、
或ハモウ少シク詳シイコトヲ日本産ノ「ニッ
ケル」ニ付テ伺フコトガ出來レバ仕合セト
存ジマス

○政府委員(小金義昭君) 從來ニ於キマシ
テハ、「ニッケル」ハ重要鑛物増産法ハ勿論
鑛業法ノ中ニモ「ニッケル」鑛ト云フ鑛石ノ
名前ガ舉ッテ居ルノデアリマスガ、日本ニハ

餘リ「ニッケル」資源ハナイヤウナ、少クトモ極メテ貧弱デアルト云フヤウナ風ニ私共モ伺ッテ居リマスガ、其ノ後色々調査致シ、又研究致シマシタ結果、我が國ニモ蛇紋岩トカ、其ノ他火山性火成岩デスカ、サウ云フヤウナモノノ中ニ、其ノ品位ハ宜シイトハ申サレマセヌガ、相當澤山含有セラレテ、非常ニ各方面ニ埋藏セラレテ居ルト云フコトガ分ッテ居リマス、ソコデ此ノ「ニッケル」ノ増産ヲ政府ニ於キマシテモ期待致シマシテ、此ノ帝國鑛業開發株式會社ノ事業ノ中ニモ「ニッケル」ノ問題ヲ考ヘテ居リマス、ソコデモウ一ツ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト存ジマスノハ、「ニッケル」ハ昭和十二年迄殆ト出テ居リマセヌガ、十三年ニ生産ヲ幾分見テ居リマス、更ニ之ヲ飛躍的ニ増加セシメル爲ニ、昭和十四年度ノ追加豫算ニ「ニッケル」製鍊ノ助成金二十三萬圓ヲ計上致シテ最近議會ニ御提出ニ相成ッテ居リマス、是ハ「ニッケル」増産ニ拍車ヲカケルモノデアリマシテ、勿論是ダケテハ足ラヌノデアリマスガ、此ノ帝國鑛業開發株式會社ノ此ノ方面ニ對スル活動ト相俟ッテ「ニッケル」ノ増産ヲ企圖致シテ居ル次第デアリマス、而シテ海外カラ「ニッケル」ガ來ナクナッタ場合ハドウカト云フ御質問ニ對シマシテ

ハ、マア或程度迄計畫ガアルト申上ゲルヨリ外ゴザイマセヌノデ、決シテマダドウナツテモ宜シイノダト云フ所迄ニハ參ラナイト思ヒマス

○眞野文二君 チョット序ニモウ一ツ伺ッテ

置キタイノデアリマスガ、若シ本邦製スルトスレバ非常ニ高價ニナルト云フコトニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、餘程ソレハ引合ハナイヤウナ値段ニナルノデアリマセウカ、其ノ御見込ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(小金義昭君) 只今埋藏狀態ヲ簡單ニ申上ゲマシタ通り、品位ガ餘リ宜シクナイノデ、之ヲ製鍊致シマシテモ其ノ「コスト」ハ相當高ク付クノデアリマス、ソコデ之ヲ補給スル爲ニ追加豫算デ「ニッケル」増産ノ獎勵金ヲ計上致シタ次第ゴザイマス、チョット速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ止メテ……
(速記中止)

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ始メテ……

○男爵松田正之君 昨日私ガ銅ノ輸入ノ事ニ付テ伺ヒマシタケレドモ、政府委員カラハ現在ニ於テハ此ノ會社ハ銅ノ輸入ニハ關係シナイト云フヤウナ御話デアリマシタ

ガ、只今ノ保科子爵ノ御質問デハスルヤウニ承ツタノデアリマスガ、其ノ點ハドチラデアリマスカ

○政府委員(小金義昭君) 一昨日御答ヘ申上ゲマシタノハ、實ハ今迄輸入致シテ居ルモノヲ此ノ會社ガ全部取上ゲテスルト云フ意味ニ於テ輸入スルト云フコトハシナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、出來ルナラバ輸入ハ此ノ會社ノ手ニ統一シテ行ヒタイト云フ考デアリマス、其ノ場合ニ於キマシテハ、今日迄ノ輸入業者ノ一部分取ッテ居リマス利益ト輸入鑛石ヲ處理スルコトニ依ッテ得テ居ル所ノ製鍊業者ノ利益トノ調整ヲ考ヘル必要ガアリマスノデ、相當考慮ヲ拂フ必要ガアリマスガ、今ノ所デハ輸入ハ輸入業者ニヤラセ、或ハ現在輸入シテ居ル者ニ輸入セシメタイト思ヒマスガ、其ノ輸入鑛石ノ取扱ハ大體此ノ會社ニ統制集中致サセタイト考ヘテ居リマス

○男爵松田正之君 能ク分リマシタ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 此ノ際先日長岡サンノ御要求ガゴザイマシタノデ、政府當局ニ尋ネマシタル處、大體四時頃衆議院ニ於テ豫算總會ガ濟ムダラウト云フコトデ、サウスレバ大臣ガコチラヘ見エルカモ知レナイト云フコトデス、今催促致シテ居

リマスガ、此ノコトヲチョット申上ゲテ置キマス、他ニ帝國鑛業開發株式會社ニ付テノ御質疑ガゴザイマセヌデセウカ、モウゴザイマセヌカ

○子爵井上匡四郎君 銅鑛ノ輸入ト云フモノハドウ位アリマスカ

○政府委員(小金義昭君) 速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ止メテ……
(速記中止)

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ始メテ……

○長岡隆一郎君 私ハ商工大臣ニ多少政策ノコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、商工大臣ガ御出席ノ前ニ、政府委員ニ對シテ輕金屬製造事業法案ニ關シテ二三ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、其ノ前ニチョット御願ヲ致シテ置キマスノハ、帝國鑛業開發株式會社法案ニ關スル問題デアリマスルガ、私ガ承ッテ居ルト、逓信省ノ電氣試驗所ニ於テ、高周波ノ電波ノ屈折ニ依ッテ地下ニ埋藏シテアル鑛石ノ所在ヲ探ス電氣探鑛法トデモ申シマスガ、サウ云フコトガ大分試驗ガ進歩シテ居ラル、ト云フコトニ承ッテ居リマスノデ、若シ御差支ナケレバ他日適當ノ機會

ニ於テ、逓信省ノ政府委員ヨリ其ノ御研究ノ進行ノ狀況ヲ承リタイト思フノデアリマス、恐縮デスガ、其ノ點御傳達ヲ願ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 電氣探鑛法トカ、其ノ他ノ所謂物理探鑛ニ付キマシテハ、是ハ逓信省ノ電氣試驗所、ソレカラ帝國大學及ビ商工省ノ地質調査所デ色々連絡シテ研究致シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ逓信當局ノ方ガ來テ下サレバ宜シイノデアリマスガ、若シ差支等ガゴザイマシタラ、商工省ノ地質調査所ノ方カラ御説明申上ゲタイト存ジマスガ、ソレデ如何デゴザイマスカ

○長岡隆一郎君 結構デゴザイマス、若シ他ノ委員諸君ノ御同意ガアリ、委員長ノ御許シガアレバ、説明員トシテ御説明下サレバ私ハ、仕合せニ思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ明後日アタリ御都合ニ依リマシテ御取計ラヒヲ致シマス

○長岡隆一郎君 質問ニ入リマスガ、私ハ唯自分ノ分ラナイコトヲ御尋ネスルト云フダケデ、此ノ案ノ賛否ニ關スル問題デハゴザイマセスカラ、其ノ御積リデ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ輕金屬製造事業法案ヲ御提出ニナリマシタニ付テハ、當初ニハ日本輕金屬株式會社ヲ目當トシテ立案サレタ

ト云フヤウナ噂ガ世上ニ流布シタノデアリマス、又既設會社ノ反對ニ依ッテ、日本輕金屬會社トハ關係ガ無イト云フヤウナコトニナッタト云フ噂モ世間ニハ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、今日デハ當局者ハ、本案ハ日本輕金屬株式會社トハ沒交渉デアル、之ヲ目當ニシタモノデハナイト云フヤウニ御説明ニナッテ居ルヤニ承ッテ居リマス、ソレハ兎モ角ト致シマシテ、本案ガ成立致シマスルト、本法案ノ保護ニ直チニ浴スルモノハ申ス迄モナク日本輕金屬株式會社デアル、是ハホンノ數箇月前ニ資金調整局カラ許可ヲ受ケタバカリデアリマシテ、而モ其ノ製造「トン」數ハ既設五會社ヲ凌グ位ノ大キナモノデアル、從ッテ日本輕金屬株式會社ノ成功、不成功ト云フコトガ非常ナ大キナ關係ヲ持ッテ來ル、恐ラク商工當局ニ於テハ、何モ差別待遇ヲスルト云フコトハアリマスマイケレドモ、日本輕金屬株式會社ト云フ當局ノ御監督ノ下ニアル會社ニ付テハ、精細ノ御調査ガアルコトト思ヒマス、デ此ノ會社ハ、私ガ申上ゲル迄モナク、東電、古河、富士電力ノ三大財閥ノ合作デアリマスルガ、之ニ對シテ二三ノ疑問ガアルノデゴザイマス、第一ニ、世間デハ古河財閥ガ南洋「ビンタン」島ノ「ボーキサイト」ノ東洋獨占販賣權ヲ持ッテ

居ルヤウニ傳ヘラレテ居リマスルガ、是ハ事實デゴザイマセウカ、今ヨリ四年前、即チ昭和十年三月日本「アルミニウム」株式會社ガ出來マシタ時ニ、同社ノ創立目論見書ヲ見マスルト、「當社ハ「シンガポール」港外、蘭領「インド」「リオ」群島「ビンタン」島產「ボーキサイト」鑛ノ採掘權者、「オランダ・ニベム」會社ト日本「アルミニウム・シンダケート」トノ間ニ締結セラレタル特約ヲ繼承シ、向フ三十箇年東洋ニ於ケル本鑛石ノ「手販賣」ヲ確保セリ」斯ウ書イデアリマシタ、同企業目論見書ニハ各務鎌吉氏、井坂孝氏、平生飢三郎氏等財界ニ信用ノアル方々、即チ日本「アルミニウム・シンダケート」ノ「メムバー」ニシテ、同時ニ日本「アルミニウム」會社ノ發起人デアアル人々ノ連名ニ依ッテ發表サレテ居リマスルカラ、之ヲ信用シテモ宜イカト思ヒマス、若シ右ガ事實ト致シマスルナラバ、古河自體ガ持ッテ居ルト云フ「ビンタン」島產「ボーキサイト」ノ東洋獨占販賣權ナルモノハ、日本「アルミニウム」會社ノ權利又ハ其ノ權利ノ一部ヲ讓受ケタ契約ガ成立シテ居ルモノデゴザイマセウカ、或ハ日本「アルミニウム」トハ全然別箇ノ契約ガ古河トノ間ニ成立タモノデゴザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイ、尙「ビン

タン」島ノ有スル「ボーキサイト」ノ埋藏量ハ、無盡藏ノヤウニ世間ニハ傳ヘラレテ居リマスケレドモ、又一部ニハ、必ズシモ無盡藏ト云フ程豐富デナイト云フコトモ言ハレテ居リマス、私ニハ真相ガ分リマセヌノデ、是ハ大凡ノ御見込デ、ドノ位ノ埋藏量ガアルノデスカ、是モ承リタイ

○政府委員(東榮二君) 初メニ御話ノゴザイマシタ本法律案ト日本輕金屬トノ關係ニ付テ、二三新聞雜誌等ニ記事ガ載リマシタコトハ、私共モ承知シテ居リマスガ、ソレハ本法律案ガ特ニ日本輕金屬株式會社ヲ保護スル爲トカ、其ノ他之ヲ目標ニシタモノデナクシテ、日本ノ輕金屬製造事業全體ヲ對象トシテ立案セラレタモノデアルト云フコトヲ、此ノ際特ニ申上ゲテ置キマス、「ビンタン」島ノ「ボーキサイト」ニ付キマシテハ、初メ古河電工ガ之ニ著眼シマシテ、古河電工ノ重役ノ一人デアアル上島氏ノ名義ヲ以テ、蘭印トノ間ニ是ガ取得ノ契約ガ出來テ居ルノデアリマス、日本「アルミニウム」ガ設立セラレマシタ時ニ、之ニ對シテ「ビンタン」島ノ「ボーキサイト」ヲ供給スルト云フコトノ話合ガ出來マシテ、現ニ供給ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ契約ニ付キマシテ、多少問題ガアルヤウニ承知致シテ居リマス、

日本「アルミニウム」ノ方デハ其ノ時全部ノ權利ヲ譲リ受ケタノデアルヤウニ申シテ居ルヤウニ承知致シテ居リマスガ、併シ現在、名義上ハ尙上島氏ノ名義ニナッテ居ルヤウデアリマス、併シ此ノ問題ハ何レニシマシテモ、日本ガ三十年間ノ供給ノ契約ヲ得テ居リマス、其ノ契約上ノ名義ハ古河電工ノ上島氏ノ名義ニナッテ居ルノデアリマスノデ、是ガ供給確保ニ付テハ日本トシテ何等不安ハナイ譯デアリマス、サウシテ現ニ日本「アルミニウム」モ亦、其ノ他ノ「アルミニウム」ノ製造業ニモ供給ヲ致シテ居リマス、今後ハ之ヲ日本輕金屬其ノ他、日本「アルミニウム」ハ勿論デアリマスガ、之ヲ必要トスル製造業者ニハ、相當供給シ得ル見込ガゴザイマス、尙「ビンタン」島ノ「ボーキサイト」ノ埋藏量ニ付テデゴザイマスガ、是ハ相當豐富デゴザイマシテ、今後約年六十萬「トン」以上日本ヘ輸入シマシテモ、何等不安ガナイ、斯ウ云フ見込付イテ居リマス

○長岡隆一郎君 「ビンタン」島ノ「ボーキサイト」ニ付テ、日本輕金屬及ビ日本「アルミニウム」ノ御主張ノ間ニ、ドウモ我々第三者トシテ吞込メナイ點ガアルノデアリマス、此ノ點ニ非常ナ疑惑ヲ懷クノデアリマスルガ、ソレハ質問ノ範圍ヲ越エマスカラ、ソレハソレニシマシテ、次ニ日本輕金屬ノ企業目論見書ニ付テ伺ヒタイと思ヒマス、斯カル大計畫、大設備ヲ果シテ二箇年間ニ完成シ得ルヤ、本員ハ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、ソコデ本會社ノ所要電力ノ大部分ヲ、自分ノ會社ノ發電ニ依ル、足ラザル所ヲ日本發送電ニ依ッテ補フト云フコトハ、非常ナ長所ト思ヒマスルケレドモ、出力十一萬六千「キロ」ノ發電所ノ中、富士川電力デ既ニ工事ニ取掛ッテ居リマスル波木井發電所二萬「キロ」ハ或ハ十六年三月迄ニ竣工スルカモ知レマセスガ、他ノ富士川水系ノ未開發水源九萬六千「キロ」ヲ初メト致シテ、年産十二萬「トン」ノ「アルミナ」工場、年産五萬「トン」ノ「アルミニウム」電解設備ニ、而カモ之ニ氷晶石「カーボン」工場ノ自給設備等ヲ昭和十五年度末、即チ十六年三月迄ニ完成スルト云フ、是ハ私ハ到底不可能デハナイカト存ジマス、初メノ計畫ハ確カ昭和十八年度末迄ニ完成スルト云フコトデアッタノヲ當局ノ御勸奨ニ依ッテ昭和十六年三月迄ニ完成スルト云フヤウニ短縮サレタヤウニ承ッテ居リマス、商工當局デ本會社ニ對シテ特殊ノ便宜ヲ與ヘ、他ノ何モノニモ優先シテ眞ッ先ニ資材ノ供給ヲスル、便宜ヲ拂ハル、御積リデ居ラレルカ、其ノ

御所見ヲ伺ヒタイ
○政府委員(東榮三君) 御話ノ通り、日本輕金屬ハ、其ノ計畫シタ人達ノ當初ノ計畫デハ、昭和十八年迄ニ之ヲ完成スル豫定デアッタノデアリマス、併シナガラ此ノ計畫ガ初メテ具體化致シマシテ、商工當局ガ其ノ説明ヲ聽キマシタノハ、昨年ノ三月頃デアッタノデアリマスガ、當時日本ノ「アルミニウム」ノ供給狀況カラ申シマシテ、極力其ノ増産ヲ圖ラナケレバナラナイ狀態デアッタノデアリマスガ、當時既設「アルミニウム」ノ製造業者ハ、各、若干ノ増産計畫ヲ致シマシテ、其ノ計畫ノ工事中デアリマシタモノ、或ハ其ノ計畫ガヤット出來上ッテ製造ニ著手シタバカリノモノモアリマシタシ、各社各様ノ事情カラ更ニ大規模ノ増産計畫ヲスルヤウナ模様ガアリマセシタノデ、當時商工當局ハ勿論、陸海軍、企畫院其ノ他關係省ノ間ニ於キマシテモ、如何ニシテ「アルミニウム」ノ飛躍的ナ増産ヲ實現スベキカト云フコトニ付テ、實ハ相當焦慮致シテ居ッタノデアリマス、其處ヘ此ノ日本輕金屬ノ計畫ガ出テ參ッタノデアリマスカラシテ、關係當局ノ間ニ於キマシテハ、是非ノヲ實現セタイ、之ヲ實現シナケレバ我が國ノ「アルミニウム」ノ飛躍的増産ハ到底出來ナ

イ、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ、其ノ計畫者ヲ招致致シマシテ、更ニ其ノ計畫ヲ短縮セジメテ、十八年迄ト云フヤウナユックリシタコトデハイケナイ、是非十五年度一パイ位ニ之ヲ完成スルヤウニ、計畫ヲ立テ直シタラドウカト云フヤウナ話ヲ致シマシテ、昭和十五年迄ニ之ヲ、全部ノ設備ヲ完了スルヤウニ計畫ヲ樹テ直シタノデアリマス、御話ノ通り昭和十五年度末迄ニハ時日ガモウサウ長クゴザイマセスノデ、是ダケノ大キナ計畫ヲ實現スルニ付キマシテハ、相當馬力ヲ掛ケナケレバナラスト考ヘテ居リマス、併シナガラ其ノ計畫ニ付キマシテハ、大體相當根據ガアルノデアリマシテ、只今電力ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、電力ニ付キマシテモ一部豫定通り、最初ノ豫定通り富士川電力ニ依リマシテ之ヲ供給スル、ソレカラ一部ハ遞信省當局トモ相談致シマシタ結果、富山縣若シクハ新潟縣地方ノ發送電會社ノ方カラ十分供給シ得ル見込ガアルカラ、其ノ方ヘ電解工場ハ分割スル、斯ウ云フ風ニ計畫ヲ變ヘマシテ、兩方トモ十分實現ノ可能性ガアルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ資材ニ付テデゴザイマスガ、資材ハ相當窮屈デアルコトハ事實デゴザイマス、併シナガラ一方「ア

ルミニウム」ノ増産ハ各種重要資材ノ中デモ、最モ重要デ且急ヲ要スルモノデアリマスカラ、企畫院ノ生産力擴充計畫ニ於キマシテモ、特ニハ最モ優先シテ其ノ實現ヲ圖ラナケレバナラスモノノ一ツトシテ考ヘテ居リマスルノデ、之ニ對スル資材ノ供給ハ物動計畫ニ於テモ特ニ考慮スル、斯ウ云フコトニ相成ツテ、只今十四年度ノ物動計畫ニ於テモ色々相談ヲ致シテ居ル譯デアリマス、唯日本輕金屬以外ノ製造業者ノ要スル資材デアリマシテモ、是ガ急速ニ生産力擴充ニ役ニ立ツ、急速ニ工事ガ完了致シマシテ、「アルミニウム」ノ製造ガ實現スルト云フモノニ付キマシテハ、矢張り之ヲ優先シテ供給ヲ致ス筈デアリマスガ、併シナガラ其ノ爲ニ日本輕金屬ニ對ス供給ガ非常ニ制限セラレテ、其ノ實現ヲ困難ナラシメルモノトハ必ズシモ考ヘテ居リマセヌ

計畫ノアルモノハ確カ四會社ト思ヒマスガ、其ノ外昨年澤山ノ新設會社デ増産計畫ガアリマスガ、差別待遇ヲセズト言ッテ居ラレルガ、日本輕金屬ニ對シテ他ノ増産計畫ニ充當スルヨリモ優先權ヲ與ヘテ、資材ヲ供給スルニ非ズンバハハ神様デモ二年間デヤルト云フコトハ、過去ノ日本「アルミニウム」其ノ他ノ經驗ニ依ッテ出來マセヌ、私ハ恐ラクハ早クモ三年ハ掛ルモノト思フ、多分四年位掛ルト云フノガ常識デアルト思ヒマス、私委員長ニ御願ヒシマスガマダ政府委員ニ御尋シタイコトガアルノデスガ、商工大臣ガ折角御出席ニナツテ、非常ニ御多忙ト思ヒマスノデ、問題ヲ後ニ殘シマシテ、政府委員ニ伺フ事務的ノ質問ハ問題ヲ轉換シテ、商工大臣ニ別ノ質問ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯耆橋本實斐君) 私モ左様ニ御願ヒシタイト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 私ハ商工大臣ニ對シテ御説明ヲ求メタイノハ、商工省ハ國產原料ニ依ル「アルミニウム」製造事業ニ對シテ現在如何ナル保護獎勵ヲ與ヘツ、アリヤ、ト云フコトニ付テ伺ヒタイ、既設ノ「アルミニウム」製造會社及ビ今回創設セラレマシタ日本輕金屬株式會社ガ其ノ材料ハ主トシテ「ギリシヤ」、英領「ジョホール」、特ニ蘭領「ピンタン」產ノ「ボーキサイト」ニ依存シツツアルコトハ、是ハ大臣御承知ノ通りデア

ル、併シナガラ午前モ申上ゲマシタガ、「ヨーロッパ」ノ形勢ハ朝ニタラ測リ難イ、現ニ或問題ガ紛糾シテ居ルト云フコトハ大臣御承知ノ通りデアル、何レノ時、如何ナル國ガ日本ニ敵對行動ヲ取ルヤ否ヤ是ハ豫測シ難イノデアル、即チ某國ガ「ジョホール」產ノ「ボーキサイト」ヲ輸出ヲ禁ズルト云フコトハ、是ハアルベキコトデアル、又「オランダ」ノ背後ニアル某國ガ、或場合ニ於テ策動シテ「ピンタン」ノ「ボーキサイト」ヲ輸出ヲ契約期間三十年ヲ待タズシテ、急ニ之ヲ拒否スルト云フ豫想モセラレル、是ハ私決シテ空想デハナイト思フ、斯カル形勢ヲ豫想スル時ハ内地ニ存スル「アルミナ」又ハ「アルミニウム」ヲ製造スル事業ヲ今ヨリ保護獎勵スル必要ガアリト信ジマスルガ、商工大臣ノ御意見ハドウデゴザイマセウカ、若シ此ノ意見ニ御同意デナケレバ其ノ理由ヲ承リタイシ、又若シ御同意デアレバ今日迄如何ナル保護助成ヲ與ヘラレタリヤ、又將來如何ナル保護及ビ獎勵ヲ與ヘラレル御方針ナリヤ、具體的ノ御方針ヲ伺ヒタイ、之ニ對シテ度々承ルノハ、内地產ノ原料ニ依ル時ハ採算ガ非常ニ取リニクイト云フコト、ソレカラ技術上高級品ガ出來ナイト云フコトヲ度々承ツテ居ル、私ハソレニ對スル反對ノ材料ヲ澤山持ッテ居リマス、ソレカラ尙御提案ノ商工政務次官ノ御説明中ニ明鑿驗事業ニ對スル補助金ヲ與フル旨言明セラレマシタガ、其ノ豫算ノ内容ヲモ明示シテ戴キタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 國產原料ニ依ッテ「アルミニウム」ノ工業ヲ獎勵スルコトニ付キマシテハ、過去數年前カラ其ノ方針デ進ンデ居ッタコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ例ヘバ滿洲ニ於テモ彼ノ地ニアリマスル所ノ、攀土頁岩ヲ利用シテ、ソレヲ原料トシテ「アルミニウム」ノ製造ノ計畫ニ數年前カラ掛カッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスシ、内地ニ於テモ朝鮮ノ明礬石ヲ以チマシテ、淺田工業デスカ、四國ニ於テ其ノ方法デヤッテ居ルコトモ御承知ノ通りデアリマス、又其ノ他或ハ長城粘土ヲ使ヒマシテ、此ノ工業ニ著手シテ居ル所モアリマスルシ、居ッタ所モアル、或ハ又更ニ本當ニ國內ニ產スル所ノ粘土ヲ以チマシテ「アルミナ」ノ研究「アルミニウム」ノ製造ニ對シテ、是ハ研

究ヲ各方面デヤツテ居ルコトハ私カラ申上
 ゲル迄モナイノデアリマス、然ルニ只今政
 府委員ヨリ御説明申上ゲマシタ通り、私ノ
 承知致シテ居ル所デハ、其ノ出來タ製品
 ガ其ノ純度ニ於テハ相當ナモノガ出來ルラ
 シイノデアリマスケレドモ、其ノ特殊ノ材
 料ヲ作ル上ニ於テ尙大イニ足ラザルモノガ
 アルヤニ承知致シタノデアリマス、左様ナ
 次第ヲ以チマシテ、現在急速ノ目的ヲ達ス
 ルガ爲ニハ、既ニ過去ニ於テ相當ノ經驗ヲ
 經テ居ル所ノ「ボーキサイト」ニ依ッテ此ノ工
 業ヲ進メテ行クト云フコトガ誠ニ必要デア
 ルト云フコトハ、是亦事實デアラウト思フ
 ノデアリマス、是ガ故ニ新シク出來マスル
 所ノ事業若シクハ増産、既設事業ノ増産ノ
 際ニ於キマシテハ、多ク「ボーキサイト」ヲ
 原料トシテ此ノ工業ヲ進メムトシテ居ルコ
 トモ亦御承知ノ通りデアラウト思ヒマス、
 而シテ此ノ「ボーキサイト」ガ只今御述ニナ
 リマシタル海外ニ求メル、南洋群島ニ一部
 アリマスケレドモ、此ノ量ハ極メテ少イノ
 デアリマス、從ヒマシテ之ヲ海外ニ仰グト
 云フコトモ已ムヲ得ナイト思フノデアリマ
 ス、併シ此ノ原料ニ依リマシテ當面ノ目的
 ヲ達シマスルト共ニ、一方ニ於テ國產原料
 ニ依リマスル所ノ此ノ工業、或ハ又圓「ブ

ロック」内ニ屬スルノ原料ヲ以チマシテ事業
 ヲ遂行スルト云フコトニ付キマシテハ、一
 歩モ手ヲ緩メナイコトニ致シ居ルノデアリ
 マス、從ヒマシテ十四年度ノ追加豫算ニ於
 キマシテモ三十五萬圓ノ獎勵金ヲ計上致シ
 テ居ルヤウナ次第デアリマシテ、一日モ早
 ク此ノ國產原料、或ハ之ニ準ズル地方ニア
 リマスル所ノ原料ニ依リマシテ、此ノ工業
 ノ確立ヲ圖リタイト考ヘマシテ、精々之ニ
 努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、豫算ノ
 内容ハ、此ノ三十五萬圓全部ガ國產原料ヲ
 使ヒマスルモノニ獎勵スルト云フコトニナッ
 テ居リマス

○長岡隆一郎君 只今ノ豫算ノ三十五萬圓
 ノ内容ヲ御話下サイマセヌガ、是ハ小サイ
 問題デゴザイマスカラ、後デ政府委員カラ
 若シモ差支ガナケレバ其ノ豫算ノ款項目ノ
 内容ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒ
 マス、大臣ニ重ネテ御伺ヒ致シマスルガ、
 國產原料ニ依ル「アルミナ」若シクハ「アル
 ミニウム」製造ニ對シテ大イニ保護獎勵ヲ
 與ヘルト云フ御意思ノヤウデ、其ノ點ハ安
 心致シマシタガ、我々國防上此ノ「ボー
 キサイト」ノ輸入ガ止ツタ時ノコトヲ考ヘ
 ルト云フト、採算上多少無理ガアツテモ國產
 原料ニ依ル「アルミナ」若シクハ「アルミニウ

ム」製造ヲ御獎勵ニナケレバナラス、又技
 術上不完全ナ所ガアレバ技術上ノ御指導モ
 與ヘラレルノガ當然デラウト思ヒマス、其
 ノ點ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ得マシテ安心ヲ
 致シマシタガ、御配付ニナリマシタ此ノ日
 本「アルミニウム」工業組合定款ト云フモノ
 ノ拜見致シマスルト、是ハ無論商工大臣ノ
 御許可ヲ得テ設立サレタ工業組合デアリマ
 ス、其ノ第五條ニハ「本組合ハ地區内ニ於
 テ本社又ハ工場ヲ有シ「アルミナ」原料ト
 シテ「アルミニウム」ヲ製鍊ヲ業トスル者（自
 家用製造業者ヲ含ム）及「ボーキサイト」ヲ
 原料トシテ「アルミニウム」製鍊用「アルミ
 ナ」ノ製造ヲ業トスル者（家用製造業者ヲ
 含ム）ヲ以テ之ヲ組織ス」斯様ニ規定シテア
 ル、即チ「アルミナ」原料トシテ「アルミ
 ニウム」ヲ製鍊ヲ業トスル者ハ兎モ角ト致
 シマシテ、「ボーキサイト」原料トシテ「ア
 ルミニウム」製鍊用「アルミナ」ノ製造ヲ
 業トスル者ニ限ツテ居リマスカラ、從ッテ國
 產原料ヲ材料トシテ「アルミニウム」用「ア
 ルミナ」ノ製造ヲ業トスル者ニハ、此ノ組
 合ニ入ラセヌ、故意力偶然力知ラナイガ、
 是カラ「シャットアウト」シテアル、而シテ
 其ノ三十六條ヲ見マスルト「本組合ハ組合
 員ノ使用スル「ファイルークロース」ヲ委託

ニ依リ購入シ之ヲ供給ス」トアリマス、從ッ
 テ此ノ組合員以外ニハ「アルミナ」製造ニ必
 要缺クベカラザル綿製濾過布ヲ組合カラハ
 配付シナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、現
 ニ私ノ知ツテ居ル範圍内ニ於キマシテモ岩
 手縣ノ黒澤尻ニ於テ岩手粘土ヲ以テ「アル
 ミニウム」ヲ製造セムトスル計畫ガアリ、
 沖繩縣ノ大東島ニ於テハ磷酸礬土鑛ヲ以テ
 「アルミニウム」ヲ製造スル計畫アリ、又只
 今大臣ノ御話ニナリマシタ大阪府下ニ於テ
 ハ北支ノ長城粘土ヲ以テ「アルミナ」ヲ製造
 スル計畫アリ、又只今大臣ノ御示ニナリマ
 シタ、現ニ兵庫縣ニ於テハ朝鮮玉埋山ノ硫
 酸礬土ヲ以テ「アルミナ」ヲ現ニ製造シツ、
 アル會社ガアル、是等ノモノハ大阪ノ方ハ
 別デアリマスガ、其ノ他ノモノハ此ノ組合
 ノ定款ニ依リマシテ、是ハ第三條デアリマ
 ス、「本組合ノ地區ハ東京府、大阪府、神奈
 川縣、長野縣、富山縣及愛媛縣トス」斯ウ
 アリマスカラ岩手縣、兵庫縣、沖繩縣ノ如
 キハ、地域的ニ此ノ組合カラ除外サレテ居
 ル、又只今申シタヤウニ「ボーキサイト」ヲ
 原料トシテ「アルミニウム」製造用ノ「アル
 ミナ」ノ製造ヲ業トスル者ト限ツテ居リマス
 カラ、此ノ第五條ノ規定ニ依ッテ材料的ニモ
 此ノ組合ニ加入出來ナイヤウナ仕掛ニナッ

テ居ル、從ッテ是等ノ業者ノ事業ハ「フィル
タール」ハ成ル程之ヲ手ニ入レルコト
ハ恐ラク困難ダラウト思フ、組合ヲ經由セ
ズシテ關係官廳ニ泣付イテ之ヲ戴クト云フ
外ハアルマイト思ヒマスガ、何ガ故ニ國產
原料ヲ材料トシテ製造スル業者ヲ組合カラ
除外シタモノデゴザイマスガ、其ノ大臣ノ
御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(八田嘉明君) 今ノ組合ノコト
ハ私チヨット承知シマセヌカラ一應政府委
員カラ御答ヘ致シマス

○政府委員(東榮二君) 本組合ハ現在
「ボーキサイト」ヲ原料トシテ「アルミナ」及「ア
ルミニウム」ヲ製造シテ居リマス業者ノ組
合デアリマス爲ニ、其ノ定款ノ中ニ只今御話
ニナリマシタヤウナ規定ガアルノデゴザイ
マスガ、今後輕金屬製造事業者ガ成立致シ
マシテ、之ヲ施行致シマスル際ニハ、自ラ組
合ノ組織其ノ他自然ニ變ッテ行クモノト考
ヘテ居リマス、只今ノ組合ガ組合員ノ便宜
ヲ圖ッテサウ云フ定款ヲ作製シテ居リマスコ
トハ、是ハ一向國產原料ニ依ル「アルミニ
ウム」ノ製造ヲ獎勵シテ行キマス上ニ於
テ支障ハナイモノト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 支障ガナイト仰シヤイマ
スガ、製造工程上必要ナル「フィルタール」

「ロース」供給ヲ受ケルト云フコトハ非常ニ
組合員ニシテ困難ナル狀況ニアレバ不便ヲ
感ズル譯デヤナイカト思ヒマス、ガ併シ將
來此ノ御許可ニナツタ組合ノ定款ヲ變更サ
レル御見込デアルトカ、或ハ國產原料ヲ以
テ製造スル業者ニ對シテ、特別ノ又組合ヲ
造ラセテ、之ニ「フィルタール」ヲ供
給サセルトカ、或ハ商工當局ニ於テ特別ニ
他ノ方法ヲ以テ「フィルタール」ヲ國產
原料業者ニ供給サレルトカ云フヤウナ途ヲ
取ラレルト云フ御辯明ナラバ私ハ満足シマ
スガ、現在ノ儘デ差支ナイト云フコトハ、
是ハ餘リ私ハ差別待遇デナイカト思ヒマス

○政府委員(東榮二君) 本法案ノ中ニモゴ
ザイマスデスガ、ソレニ關スル規定ガゴザ
イマスノデスガ、今後ハ我が國ノ輕金屬製
造業者ヲ中心ト致シマシテ、共販會社ヲ造
ラセル積リデ居リマス、ソレハ主トシテ製
品ノ買取及ビ販賣ヲ其ノ事業トスルノデア
リマスガ、併シ必要ナル場合ニハ配給ノ統制
及ビ原料材料等ノ共同購入ラシテ配給シテ
ヤラセルヤウデゴザイマスカラシテ、本法
律案ガ施行ニナリマシタ際ニ、若シサウ云
フ原料材料ニ付テ供給ガ不圓滑デアリマス
場合ニハ其ノ共販會社ヲシテ其ノ供給ヲ確
保セシメル積リデアリマスカラシテ、現在

ノ組合デ如何ナルコトヲヤッテ居リマシテ
モ、ソレトハ別途ニ十分供給ヲ確保シ得ラ
レルモノト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 ソレデハ只今ノ大臣ノ御
言明ヲ信ジテ將來差別待遇ヲシナイ、國產
原料ヲ以テ製造スルモノヲ特ニ差別待遇ヲ
シナイ、之ニ對シテ、相當ノ材料ノ供給ナ
リ、其ノ他ニ付テ保護獎勵ヲ與ヘルト、斯
様ナ意味ニ解シテ宜シウゴザイマスガ、ソ
レハ大臣カラ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) チヨット私ハ其
ノ御質問ノ點ニ於テモウ少シ伺ハナケレバ、
チヨットソレニ御答ガ出來ナイト思ヒマス、
ガ併シ極ク簡單ニ一口デ御答スレバ差別待
遇ハナイト斯ウ御答ヘ申上ゲテ宜イト思フ、
唯茲ニ先程ハ私ガ申上ゲタヤウニ、現在
ノ要望ト云フモノガ一方ニ於テ國產原料ニ
依ル工業ヲ、是非ハ一日モ早く確立シナ
ケレバナラスノデアリマスカラ、之ニ對シ
テ獎勵モ亦適當ナモノハ其ノ工業ヲドウモ
段々急速ニ發達スルコトヲ望ムノデアリマ
スカラ、其ノ點ニ付テハ政府ハ力ヲ入レマ
スルガ、其ノ「ボーキサイト」ヲ原料トス
ル所ノ工業ガ今日ノ前ニ必要デアルト云フ
コトヲ我々考ヘテ居ルノデアリマス、ソコ
デ只今私ガ御答シタコトヲ唯簡單ニ御取リ

ニナリマスルト、ソレデヤ政府ハ「ボーキ
サイト」ノ原料デナクトモ、茲ニ「アルミニ
ウム」ノ工業ヲドン／＼ヤラセルノカト云
フコトニナル處ガアルト思ヒマス、ソレダ
ケハドウゾ兩方面カラ御覽ニナルコトヲ願
ヒタイ、此ノ工業組合ニ對スル取扱方ハ今
政府委員カラ御答ヘシタ通りダラウト私ハ
思ヒマス、私ガ申述べタコトニ於テ誤リガ
アリマシタナラバ、又訂正致シマスガ、サ
ウ御取リ下サル必要ガアルノデヤナイカト
思フ、ソレハ「ボーキサイト」カラ進ミマス
ル所ノ「アルミナ」サウシテソレニ依ル「アル
ミニウム」ト云フモノト、ソレカラ國產原
料、國產ノ中ニ色々アリマスルシ、純國產
原料カラ出來マスモノニ於キマシテモ、其
ノ出來タ「アルミニウム」ニ於テハ分析的ニ
於テ大シタ差ガナク、然ルニ之ヲ他ノ何ト
申シマセウカ、簡單ニ「ジュラルミン」デア
ルトカ、サウ云フ合金シタ所ニ於テ成績ガ
必ズシモ好イト云フコトヲ言ヘナイト云フ
コトヲ承知シテ居リマス、從ヒマシテ現在
ノ目的ニ於テサウ無理デナイト思フ、鑛業
ト云フモノハ或資材、限ラレタル資材ヲ自
ラソコニ決ッテ來ルモノガアルト思ヒマス、
其ノ點ハ御承知ノ上、只今ノコトヲ御答ヲ
御聽キ取リ願ヒタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 ソレハサッキノ御言明ト

大變遷ツテ來ルノデスガ、其ノ國產原料ヲ以テシテモ九九・九迄ノ「アルミニウム」ハ出來テ居ル、ソレニ對シテ「アルミニウム」ヲ造ル時ニ、殊ニ今御話ノ「ジュラルミン」用ノ「アルミニウム」ヲ造ル時ニ、國產原料ヲ以テ造ツク「アルミニウム」ハ出來デアルト斯ウ云フコトヲ私ハ聞イテ居ルガ、併シナガラ今日ハソレハ技術上解決ノ途ガアルト云フコトモ聞イテ居ル、ソレハモウ細目ダトカ、サウ云フヤウナ問題ニハ入りマセヌガ、ソコデ私ハ「ボーキサイト」ヲ御獎勵ニナルト原料其ノモノヲ御獎勵ニナルト云フコトニハ何モ反對ハナイ、何モ反對ハナイガ、併シ結局一方ニ於テハ國外原料ニノミ依存スルト云フコトハ是ハ國防上非常ニ危險ヲ起シ易イノデアカラ、日本輕金屬ニ私ハ何モ反對スルノデヤアリマセヌ、此ノ法案ニ反對スルノデモゴザイマセヌヨ、併シナガラ萬一ノ場合ニ備ヘテ國內原料ヲ以テ其ノ製造スル業者モ獎勵保護シタラドウカ、何モ之ヲ私ハ卒直ニ申上ガマスルガ、是ハ此ノ既設五大會社デモ、他ノ會社デモ此ノ案ノ成立ニ付テ、此ノ提案ニ付テ今東サシカラ詳細ナルコトヲ承リマシタケレドモ、矢張り何カ此ノ世間デモ日本輕金屬ノ

爲ニ生レタモノノヤウニ誤解セラレルノデアル、既設會社及ビ將來ノ新設會社ニ於テハ是ガ所謂嫡出子デアツテ、他ハ繼子扱ニサレルノデヤナイカト斯ウ云フヤウナ非常ナ心配ヲ持ツテ居ル、是ハマア御打消シニナリマシタケレドモ、業者ノ立場ニナツテ見ルト、是ハ無理カラヌ、此ノ成リ行ハ大臣能ク御承知デ、今日コソ差別待遇ハシナイト仰シヤルガ、此ノ歴史ハ私詳細知ツテ居リマスカラ、ソコデ此ノ當業者ノ不安ヲ拂拭スル爲ニ何モ私ハ日本輕金屬ダケヲ優先サセルノデヤナイ、他ノ既設會社ノ「ボーキサイト」ヲ原料トシテ居ルモノニ對シテモ増産計畫ニ對シテハ、平等ニ便利ヲ與ヘテ、又國內原料ヲ以テ製造スル業者ニ對シテモ繼子扱ヒハシナイノダト斯ウ云フ言明ガアレバ、ソレデ宜イ

○國務大臣(八田嘉明君) 只今最後ニ御述

ニナリマシタ第一段ハ少シモ差別待遇ハナイノデアリマス、各事業者間ニ於テ、第二段ニ御述ニナリマシタ所ノ國產原料ニ依ルモノト「ボーキサイト」トノ間ニ區別ハナイカト云フコトニナリマス、ソコヲ私ハ先程念ヲ押シタノデアリマス、國產原料デアリマセウト、外國原料デアリマセウトモ、何レニ致シマシテモソコニ出來ルモノハ優

良ナモノデ、國家ガ之ヲ必要トスルモノガ出來サヘスレバ其ノ間ニ何等ノ區別ガナイガ、單ニ國產原料デアアルガ故ニ區別シナイカト云フコトノ誤解ガアルト、是ハ私ハ先程申上ゲタト思ヒマスコトデ、ソレデ御分リ下スツタト思ヒマスガ、詰リ差別待遇ハナイガ、其ノ出來ル物ノ差別ナイ限リハ差別ガナイ、既設會社ト新設會社トノ間ニ區別ナシ、是ダケ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 第一ノ問題ハ了解致シマシタ、サゾサウアリマセウ、第二ノ問題ハ製品ニ不完全ノ所ガアル、假ニアリト假定シテモ、又經濟的ニ見テ「ボーキサイト」ニ對シテ不利益デアツテモ今ノ國產原料ヲシテ「アルミニウム」工業ヲ確保スルト云フ意味合ニ於テ、當局ハ之ニ御指導、御獎勵、御鞭撻ヲ與ヘラレルト云フコトハ、是ハ當然ト思フ、斯ウ云フヤウナ定款ニ依ツテ今迄繼子扱ニシテ、現ニシテ居ラレマスカラ、之ヲ繼子扱シナイト、斯ウ云フ御言明サヘ承レバ宜シイ

○國務大臣(八田嘉明君) 御話ノ通りト御答ヘ申上ゲマス、但シ先程私ガ述べタコトハ能ク御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 私人商工大臣ニ對スル質問ハ是デ打切りマス、引續キ政府委員ニ質問ガアリマスルケレドモ、商工大臣ハ定メテ御多忙ノコトト思ヒマス、私ノ質問ハ中斷シマシテ他ニ商工大臣ニ對スル他ノ委員ノ御質問ガアリマスレバ、私ハ其ノ後ニ廻サシテ戴キタイト思ヒマス

○子爵井上匡四郎君 只今商工大臣カラ長岡君ノ御質問ニ關聯シテ、國產ノ原料「アルミニウム」カラ造ツク「アルミニウム」ハ合金ニ作ル場合ニ、外國產ノ「ボーキサイト」ヲ使ツテ作ツク「アルミニウム」ヨリモ、合金ニシタ場合ニ都合ガ惡イト云フ御話ヲ聞イタノデスガ、私ハ斯ウ云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、大臣ノ御話モ餘リ強イ御自信ガアツテ御述ニナツテ居ルヤウニ聞エマセヌガ、私モ同じ程度ニ稍、確實性ガアルカト思フノデスガ、日本デ造ツク「アルミニウム」ハ全部イカヌノダ、外國カラ輸入シタモノデナケレバドウモイカヌノダ、ソレデ住友ナドハ外國カラ輸入シタモノデ矢張り良イ品物ヲ造ルノダ、是ハ「アルミニウム」ノ純度ト云フコトニ關係シナクテ、ドウ云フモノカ専門家ノ間ニハ分ラヌ、色々ナ試驗ヲシテ見ルケレドモ分ラヌ、日本デ造ツク「アルミニウム」ハ惡イノダト云フヤウニ聞イテ居リマスルガ、サウ云フ風ニハ政府ハ御聽取リニナツテ居ナイノデアリマスカ

○政府委員(東榮二君) 私カラ今ノ問題ニ

付テ御答ヘ致シタイト思ヒマス、日本デ國產ノ原料ヲ使ヒマシテ「アルミニウム」ヲ製造致シマシタノハ御承知ノ通り日本電工デゴザイマスガ、是ハ最初カラ朝鮮ノ明礬石ヲ原料ト致シマシテ「アルミニウム」ヲ製造致シマシテ、相當ノ所迄ノ製品ヲ出シマシタ譯デアリマス、處ガ之ヲ實際使ッテ見マスト其ノ分析シタ結果其ノ純度等ハ大體同ジデアルニモ拘ラズ、實際使用シテ見ルト缺點ガアッテ軍用ニナラナイ、斯ウ云フコトデ軍當局トシテハ最近事變勃發後ハドウモ是デハ困ルカラ「ボーキサイト」ヲ輸入シテモ宜イカラ成ルベク「ボーキサイト」ニ依ッテ優秀ナ「アルミニウム」ヲ造ッテ戴キタイト云フヤウナ希望デアリマシテ、日本電工モ最近明礬石ヲ止メマシテ「ボーキサイト」ヲ輸入シテ製造致シテ居リマス、ソレデアリマスカラ今朝陸軍ノ方ノ政府委員カラモ答辯ガゴザイマシタヤウニ、最近ハ今此ノ目前ノ需要ニ應ズル爲ニハ已ムヲ得ズ「ボーキサイト」ヲ輸入シテ、少シデモ品質ノ良イ又安ク出來ル「アルミニウム」ヲ作ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、唯併シ先程來長岡サンノ御話ノ通り國產原料ニ依ル「アルミニウム」ノ製造ト云フコト、

是モ忽セニスル譯ニハ行キマセヌカラシテ、

是ハ民間ノ小會社デモ研究ヲ致シテ居リマス、又工業試驗所アタリデモ研究ヲ致シテ居リマス、其ノ研究ノ結果ハ實驗的ニハ既ニ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマス、又滿洲ニアリマス滿洲輕金屬ニ於キマシテハ、アスコノ礬土頁岩ヲ原料トスル「アルミニウム」ヲ造リマシテ、是ハ品質ハ相當優良ナモノガ出來マシテ、既ニ「デュラルミン」用トシテ十分役ニ立ツト云フコトガ言ハレテ居リマス、唯併シ生産費ノ點ニナリマス、マダ相當高イヤウデゴザイマシテ、今後ハ是等ノ研究ヲ益々進メテ行キマシテ品質ノ點ニ於テモ、亦生産費ノ點ニ於テモ、十分満足シ得ル所迄研究ヲ進メテ行カナケレバナラスト、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、其ノ研究ヲ進メ、其ノ事業化ヲ促進スル爲ニ差當リ十四年度ハ三十五萬圓デゴザイマスガ、是ハ今後十八年度迄ニ約百八十萬圓餘リノ補助金ヲ全部出ス豫定ニ致シテ居ル譯デアリマス

○子爵井上匡四郎君 ドウモ特別委員會ノ

部屋ガ變リマス、其ノ中ノ空氣ガマルデ違ッテ、違ッタ空氣ガ現レルヤウナ感じガシマスノデスガ、一昨日デスカ私ハ產金法ノ特別委員會ニ行ッタノデスガ、其ノ特別委員會ダト云フト一奴デモ金ハ外國ヘ出ナイ方ガ宜イ、ドンナニ高クナッテモ内地デ以テ生産シナクチャイカヌト云フ議論ニ終始シテ居ッテ、此處ニ來ルト少シデモ、安ク造ルモノノ方ガ宜イノダト云フ空氣ガアルノデ、甚ダドウモ其處ハ政府部内ノヲカシナ御答辯ト思ヒマスガ、商工大臣如何ニ御考ニナリマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 金ノ如キモノハ

國內デ幾分金ヲ掛ケテモ宜イ、是ハ金ニ別段何ト申シマスカ同ジ純金ト言ヘバ純度ノ同ジモノガ出ル譯デアリマセウカラ、私ハ國內デ幾ラ金ヲ掛ケテモ宜イト云フコトヲ言フノダラウト思ヒマス、ソレカラ「アルミニウム」ノヤウナ或工法ニ依ッテ出來上ッテ來ル所ノ品物ハ、唯ソレガ國內デ出來ルカラト言ッテモ其ノ生産技術ガ確カニ如何ナル場合ニ於テモ誤リガナイノダト云フ所迄進マナイト、ソレハ平生ノ他ノ所謂平時用ノモノナラバ無論差支ナイコトデアリマセウガ、戰時用ノモノニ對シテ、軍需用ノモノニ對シテハドウモ其處ノ所ハ外國カラ原料ヲ仰イデモ、サウシタイト云フヤウナ心持ガ生ズルノハ已ムヲ得ナイデヤナイカト思フノデアリマシテ、其ノ位ノ差ガアルト思フノデアリマス、今政府委員ガ物ハ相

當ノモノガ出來ルノダガ、其ノ生産費ガ高

イノダト云フノハ、其ノ物ガ本當ニ同ジ物デ間違ノナイモノデアアルナラバ生産費ガ高クテモ國內デヤッテモ宜イト思ヒマスガ、是ハ其處迄行ッテ居ラスト私ハ思ッテ居ルノデアリマス

○子爵井上匡四郎君 其處ハ先程御話シマシタヤウニ、少シ商工大臣ト私所見ノ程度ヲ異ニスルモノデアリマスカラ、内地產ノ原料デ造ッタ「アルミニウム」デモ現在ハ相當ニ行クノデアアル、併シ外國品ノ如クナイ、ソレハ「ビンタン」ノ「ボーキサイト」ヲ使ッタ「アルミニウム」デモ同ジヤウニ外國ノ如クナイト云フ風ニ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ程度ハ併シ是ハ此ノ所謂非常時デアッテ、ドウカシテ之ヲ克服シナクテハナラナイ、ソレヲ又將來斯ウ云フ外國ノモノヲ決シテ……私ハ今ノ其ノコトハ旅行シテ居ッテ知ラナカッタノデアリマスガ、長岡君ノ御話デ將來モ亦サウ云フ外國ノモノニ依存スル會社ヲ特ニ保護サレルノデモナイカモ知レマセヌガ、御許可ニナッテ行ッテ、サウシテ内地ニアル内地ノ原料ヲ以テ色々仕事ヲシテ居ルモノニ對シテハ、是ハ三十五萬圓デスカ御補助ハアルカモ知レマセヌガ、モウ少シ斯ウ云フモノヲ助長シテ行ッテ、此

ノ國際收支ノ所謂改善ヲ圖ルト云フコトコソ、此ノ場合ニハ私ハ極力ヤラナケレバナラス問題ダラウト思ヒマスガ、全體「ボーキサイト」輸入ニ對スル外國支拂ト云フモノハドノ位アリマスカ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 其ノ部分ハ速記ハ……

○政府委員(東榮二君) 速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ始メテ……

○男爵松田正之君 チョット伺ヒマスガ、國產ノ「ボーキサイト」ナリ、國產ノ材料ヲ使ツテ「アルミニウム」ヲ拵ヘテ居ル會社ニ付テハ増産計畫ガアツク場合ニハソレヲ優先的ニ認メテヤルトカ云フヤウナ御考ガアルト大變都合ガ好イヤウニ思ハレマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(東榮二君) 「ボーキサイト」ニ依ル「アルミニウム」ノ製造ニ付キマシテハ既ニ技術的ニハ相當進ンデ居ルノデアリマシテ、其ノ製造方法ニ付テ特ニ研究ヲ必要トスルト云フヤウナ事情ニハナイト思ヒマス、

唯併シ將來國產ノ原料即チ「ボーキサイト」以外ノ國產ノ原料ニ依ル研究ガ相當進ミマシテ、漸次輸入「ボーキサイト」ヲ減ジテ行クト云フ場合ニ於キマシテモ、國產ノ「ボーキサイト」ニ付テハ是ハ別ナ扱ラスルコトニナルコトハ勿論デアルト考ヘマス

○男爵松田正之君 別ナ扱ヒトハドウ云フコトデスカ

○政府委員(東榮二君) 詰リ輸入「ボーキサイト」ハ漸次之ヲ減ジテ行ク、其ノ輸入ヲ減少シテ行ク場合ニモ國產ノ「ボーキサイト」ハ十分之ヲ利用シテ行ク途ヲ開イテ行ク、斯ウ云フ譯デアリマス

○男爵松田正之君 サウシマスルト増産計畫デモアツク場合ニハ「ボーキサイト」ヲ輸入シテ製造スル會社ヨリモ、内地ナリ、日本領土ニ於テ出來マス「ボーキサイト」ヲ使ツテ「アルミニウム」ヲ拵ヘテ居ル會社ノ方ニ先ニ増産計畫ヲ認メルト云フコトニナルト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(東榮二君) 大體將來ハサウナルト思ヒマス

○男爵松田正之君 ソレカラモウ一點、同ジ國產獎勵ノ……

○委員長(伯爵橋本實斐君) 此ノ際チョット申上デマスガ、若シナンドゴザイマシタラ

大臣ガ折角御忙シイ所ヲ御出席ニナッテ居リマスカラ、大臣ニ對スル御質問ヲ願フタラ如何カト思ヒマス

○男爵松田正之君 大臣ニ伺ッテ居ルノデスガ、少シ細カイコトデスカラ、政府委員ノ御答デコチラハ満足シテ居ル譯デアリマス、モウ一ツ、今度共販會社ガ出來ルヤウデゴザイマスガ、是モ矢張り内地產ノ「ボーキサイト」ヲ包含シテ居リマシタ場合ニハ、其ノ共販會社ガ買入レル場合ナシカハ、其ノ値段ヲ安く買フト云フヤウナコトガ國產獎勵ノ上ニ最モ必要ナコトダラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ハドウ御考デアリマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 大體此ノ共販ノ目的ハ、只今御話ノアリマシタヤウニ、詰リ生産費ガ本當ニ高く付クモノ、ソレカラ安く出來上ルモノト云フモノヲ睨ミ合セマシテ、サウシテ之ヲ平均シテ賣ル、サウシテ其ノ生産費ノ高イモノデモソレガ成立ッテ行クヤウナ風ニ考ヘル所ニ目的ガアルノデアリマスカラ、只今ノ御尋ノハ實際ノ出來上ルモノガドウ云フ風デアルカト云フ内容結果ニ依ッテ決メテ行クト云フコトニナルデヤナйкаト私ハ思フ、豫メドレガドウト云フコトハ言ヘナイデヤナйкаト思ヒマス

○男爵松田正之君 ソレハ勿論サウダラウト思ヒマスケレドモ、原則トシテ少シ位高クテモ内地產ヲ獎勵スルト云フヤウナ方針ヲ御取リニナルカ、其ノ方針ノ所ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 國產トシテ「ボーキサイト」ガ得ラレサヘスレバ私ハソレガ一番今ノ所宜イデヤナйкаト思ヒマス、併シナガラ今「ボーキサイト」ガ製品トシテ一番樂ナ譯デアリマスガ、先程來他ノ議員ノ御方カラ御話ノアリマシタヤウニ、國產品ハモウ所謂日進月歩デアリマシテドシ、改善サレツ、アルノデアリマスカラ、國產ノ「ボーキサイト」ガドウト云フコトヲ今私カラ申上ゲルコトハチョット不可能デヤナйкаト思フノデアリマス、其ノ時ノ事情ニ依ッテ行クヨリ外ナイト思フモノデアリマス

○男爵松田正之君 國產ノ「ボーキサイト」ガナイヤウニ御考ニナッテ居リマスガ、南洋群島ニハ澤山アリマス、其ノ「ボーキサイト」ニ依ッテ出來タ所ノ「アルミニウム」ノコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○國務大臣(八田嘉明君) 南洋ニアルコトハ私能ク承知シテ居リマスガ、盛ニ分量ヲ……「アルミニウム」ヲ作リマス時ニハナカナカソレハ追ッ付カナイノデアリマス、

ソコデ今ハ「ボーキサイト」ハ外カラ取ッテ居
ル、若シ國產品デ、南洋ノ「ボーキサイト」
デ間ニ合ヒマスレバ、只今申上デマシタヤ
ウニ外國カラ買フヤウニ金ハヤラスノデア
リマスガ、矢張り今日ノ所ハソレノミニ依
存スル譯ニイカナイ、併シナガラ今後南洋
方面ニ於テ更ニ今日ヨリ以上ニ優良ナ「ボー
キサイト」ガ國內ニ於テ、或ハ之ニ準ズ
ル所ニ於テ發見出來マスレバ、ソレハ非常
ニ仕合セナコト思フノデアリマス、併シ
一方ニ於キマシテサッキ長岡サンカラ御話
ノアリマシタ通り、學者、研究所ニ於テ專
ラ他ノ原料、「ボーキサイト」以外ノ原料ニ
於テ優秀ナ成績ガ試験的ニハ既ニ上ッテ居
ルノデアリマス、更ニ今後ニ於テソレヲ努
力致シマス、「ボーキサイト」ヨリモット樂
ナモノデ、而モ澤山アルモノデ日本内地ニ
於テ出來上ラスト云フコトヲ申スコトハ出
來マセヌカラ、唯此ノ場合ニ於テ豫メ國產
品デアルガ故ニ「ボーキサイト」ノミニ格別
ナ扱ラスルト云フコトヲ申上ガ兼ネルト云
フコトヲ申上ガタノデアリマス

○子爵井上匡四郎君 「アルミニウム」ノ十
三年度ノ外國輸入ノ數字ノ御示ヲ願ツタノ
デアリマスガ、此ノ表ニモ其ノ十一年度迄
迄シカ矢張り御出シニナッテ居ラスノデア

リマスガ、國內ノ生産モ十一年度迄シカ出
テ居リマセヌガ、十三年度迄一ツ……十三
年度ノ産額ガドレダケデスカ承知シタイト
思ヒマス、ソレト同時ニ亦只今御話ノ南洋
ノ日本ノ委任統治ニアル「ボーキサイト」ヲ
原料トシテ、多分三池ニ新ラシイ計畫ガ進メ
ラレテ居ルダラウト思ヒマス、サウ云フ現
在商工省デ御許可ニナッテ居ル……日本輕
金屬株式會社モサウデアリマスガ、此處ニ
舉ゲテアル日本電氣工業株式會社初メ、是
等ノ會社ノ公稱能力ト申シマスルカ、ドレ
ダケノ生産力ヲ以テ、實際是ダケシカ出テ
居ラナイト云フ、生産能力ヲ一ツ矢張り御
示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) ソレハ祕密會デ
ナケレバ……

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ此ノ
次ニ祕密會ノ機會ヲ作リマスルカラ、其ノ
時……、如何デゴザイマセウカ、大分今
日ハ御勉強ヲ戴キマシタカラ、今日ハ此ノ
程度デ……

○長岡隆一郎君 ホンノ十分カ十五分位、
私質問ガ殘ッテ居リマスガ、ハ政府委員ニ
伺ヘバ宜イコトデアリマスガ、明後日デ結
構デス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ今日

ハ此ノ程度デ散會致シマス
午後五時二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 眞野 文二君
委員

公爵桂 廣太郎君
子爵井上匡四郎君
子爵大河内正敏君
子爵保科 正昭君
男爵伊藤 一郎君
男爵松田 正之君
男爵肝付 兼英君
加藤敬三郎君

長岡隆一郎君
根津嘉一郎君
松本勝太郎君
小野 耕一君
大西虎之介君

國務大臣 八田 嘉明君
商工大臣兼拓務大臣
政府委員

陸軍砲兵大佐 中西 貞喜君
商工政務次官 今井 健彦君
商工省工務局長 東 榮二君
商工省鑛山局長 小金 義照君
商工書記官 山本 茂君

昭和十四年三月二十三日印刷

昭和十四年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局